

令和2年度 共通教育カリキュラムマップ

【科目一覧】

基礎教養科目群 人文科学科目

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
20GBSH0001	神話・伝説の世界から	全て	民衆の中から発生した文学の背景を見つめ、本質に触れながら作品を鑑賞し、多くの文学作品の根底に流れるものを読み取る力をつけることを目的とする。	神話の普遍性について考え、人類の文化を知る。
20GBSH0002	平安朝文学の世界	全て	平安朝の文学を通して、当時の人々の生活・風俗や考え方に触れ、我が国の文学や文化についての理解を深めることを目標とする。	古典文学作品を読解する基本的な能力を身につける。平安時代の人々の生活や考え、文化について理解する。平安時代のさまざまな作品に触れることを通して、文学史の知識を身につける。
20GBSH0003	江戸時代と現代の道徳の比較	全て	これまで読む機会がなかったであろう江戸時代の道徳について書かれた本を翻刻したテキストを使い、読み込むことで、現代との相違点について身近に感じることをねらいとしたものである。したがって「道徳」を学ぶための授業ではなく、自分の生き方を考えるための授業である。	①江戸時代の道徳の内容を知ることができる。 ②現代社会の抱える問題や現代の道徳とのかかわりについて考えることができる。
20GBSH0004	鎌倉時代の文学への誘い	全て	鎌倉時代に右京大夫によって編まれた私家集『建礼門院右京大夫集（けんれいもんいんうきょうのだいおしゅう）』について、その文学的基盤を踏まえながら読むことによって、日本の古典文学および日本文化への理解を深める。	①授業での説明を聞いたり、古語辞典を引いたりすることで、古典文学作品を自分なりに現代語訳することができる。 ②作者が生きた時代の政治動向・社会通念・宗教観などを学ぶことで、現代から遠く隔たった時代の文学作品を作者と同じ立ち位置で捉え、書かれた内容を説明することができる。 ③古典文学作品の作者や登場人物の心情を読み取り、現代と共通する点、その時代固有の点の双方があることに気づき、自分の言葉でまとめることができる。
20GBSH0005	芭蕉をめぐる人々	全て	「芭蕉」は交流のあった人々にどのような影響を与えかつ受けたのかを知ることができる。「芭蕉」は独自の俳諧を開拓するにあたって、多くの人の影響を受け、また多くの人に影響を与えている。この講座では、「芭蕉」はどのような人と関わり、どのような影響を受けたのか。また「芭蕉」らしさはいかにして形成されたのかを知ることができる。	「芭蕉」と交流のあった人々に対する彼の書簡や著作を読み解くことにより、「芭蕉」の人間性や考え方を理解し、その感性に触れることを目標とする。
20GBSH0006	雨月物語に込められた情念	全て	『雨月物語』は一般に怪異小説と受け取られていることが多い。しかし、その中には作者「上田秋成」の執着、執念などの思いが込められている。そういった情念を怪異譚の中から読み取ることができる。	『雨月物語』に込められた情念や「秋成」の主張する教訓的な内容を理解することが目標である。
20GBSH0007	芭蕉と旅	全て	「芭蕉」の旅の記録や作品である紀行に触れることによって、その俳文を通じて彼の人生そのものともいべき旅への想いと、その人生観・俳諧観にふれることができる。	「芭蕉」にとっての旅というものを通じて、彼独自の人生観や俳諧観を理解することが目標である。
20GBSH0008	「心中天網島」の女房「おさん」	全て	心中物に登場する当事者以外の人（脇役）でありながら、『心中天網島』において主役にも比すべき重要な役割を演じる「紙屋治兵衛」の女房「おさん」の心情やそれに基づく行動が理解できる。	「おさん」を初めとする登場人物それぞれの心の動きや、その妥当性・合理性を確認することが目標である。
20GBSH0009	日本近代文学の魅力 I	全て	近代文学の代表的な作品の講読を通じて、学習者が自らその内容を把握する。	作品内容の個別性と普遍性について考え、自分なりに解釈できるようになる。
20GBSH0010	日本近代文学の魅力 II	全て	近代文学の代表的な作品の講読を通じて、学習者が自らその内容を把握する。	作品内容の個別性と普遍性について考え、自分なりに解釈できるようになる。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
20GBSH0011	「昔話」と「昔語り」	全て	「昔話」と「昔語り」の違いを理解する。	(1) 昔話・昔語りの定義について、基本的な知識を分かりやすく説明できる。 (2) 昔話・昔語りの分類について、柳田國男・関敬吾の考え方の違いを分かりやすく説明できる。 (3) 昔話・昔語りの伝承について、いつ・どこで・だれが・なにを・どのように語っていたのかを分かりやすく説明できる。 (4) 古典から現代の教育までにつながる「昔語り」の歴史を分かりやすく説明できる。
20GBSH0012	平安時代の文学への誘い	全て	平安時代に清少納言によって書かれた『枕草子』の「日記・回想章段」について、その文学的基盤を踏まえながら読むことによって、日本の古典文学および日本文化への理解を深める。	①授業での説明を聞いたり、古語辞典を引いたりすることで、古典文学作品を自分なりに現代語訳することができる。 ②作者が生きた時代の政治動向・社会通念・宗教観などを学ぶことで、現代から遠く隔たった時代の文学作品を作者と同じ立ち位置で捉え、書かれた内容を説明することができる。 ③古典文学作品の作者や登場人物の心情を読み取り、現代と共通する点、その時代固有の点の双方があることに気づき、自分の言葉でまとめることができる。
20GBSH0013	日本語と英語の比較	全て	多くの受講生が母語として普段何気なく使っている日本語を英語と比較対照分析することによって、両言語について新たな気づきを得る。また、それを通して英語等の外国語学習への抵抗を減らすことを目的とする。	1) 「言語を比較する」ための比較の基準を上げることができる。 2) 授業で扱った言語現象に関して、日本語と英語の違いと共通点を説明できる。 3) 2) を通じて、日本語や英語の持つ規則性を説明できる。 4) 1)～3) を通じて日本語および英語がどんな言語であるかに関して自分なりに記述できる。
20GBSH0014	シェイクスピア入門	全て	「文学」と聞いたとたん顔そむける人や、「文学」なんて退屈で小難しいものだと決めつけてしまい毛嫌いな人がいるが、そういう人にこそこの講義は履修してもらいたい。「文学」の楽しさを味わってもらえれば、と願っている。	「文学」に対する理解を深める。TVや映画をただ観るだけでなく、自分で読み取る能力を身につける。
20GBSH0015	源流としてのシェイクスピア	全て	「文学」と聞いたとたん顔そむける人や、「文学」なんて退屈で小難しいものだと決めつけてしまい毛嫌いな人がいるが、そういう人にこそこの講義は履修してもらいたい。「文学」の楽しさを味わってもらえれば、と願っている。	「文学」に対する理解を深める。TVや映画をただ観るだけでなく、自分で読み取る能力を身につける。
20GBSH0016	日本史の中の女性たち	全て	日本の歴史上、各時代において女性が果たしてきた役割と機能について考察することで、現代社会における生き方について考える素材とする。	日本の歴史上、女性が果たしてきた役割と機能について理解し、女性として現代を生きるための指標を獲得する。
20GBSH0017	日本の画像文化論	全て	描かれた資料から、日本社会の歴史や生活、文化について、立体的に理解することを目標とする。	過去に描かれた画像メディアから、その目的や意図を読み取ることで、当該時代の歴史、生活、文化等について理解する。 画像メディアを例として、資料、メディアから情報を収集するための考え方、技術を身につける。
20GBSH0018	日常生活からの哲学入門	全て	この科目では、西洋と日本の哲学者のさまざまな議論を紹介しながら、「見る」「触れる」「感じる」といった日常にありふれた経験を分析する。これらの経験について考えた哲学者たちの議論の仕方を学ぶことによって、哲学的な考え方・ものの見方を身につけることを目的とする。	西洋哲学の基本的な言葉遣いを学ぶことで、西洋文化の基礎にある考え方を理解する。 言葉を用いて問題を発見し、整理し、論理的に考える力を身につける。 一つの経験に対して複数の考え方がありうることを理解し、それぞれの考え方のねらいを踏まえて主体的に判断する力を身につける。
20GBSH0019	現代フランスの音楽事情	全て	フランスの音楽事情を通してフランスの側面を学ぶと同時に、音楽と社会について考察できる力を培う。フランスの例から日本の音楽事情にも考えを巡らせることや、さらには自らの専門領域に対する深い思考力を身につける。	フランスにおける音楽活動や文化政策の一端を知ることで、異文化理解につなげる。 フランスは、芸術文化や料理、菓子、ファッションなどの分野で世界から注目されているが、その背景について深く知り、自らの学習に役立てられるようにする。 授業で学んだ内容をもとに専門領域におけるフランスの事例を調べたり、日常生活でもフランスに関連する内容をより深く理解できるようにする。
20GBSH0020	ミュージカル歌唱法	全て	音楽によって感受性を豊かにし、表現することで積極性を養う。	歌を通じて客観的に自分を理解し、それを表現し伝えることを体感する。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
20GBSH0021	合唱表現Ⅰ	全て	社会生活に必要な、人の話を聞き、それが理解でき、自分を表現することができ、そして協調できることを目的とする。合唱に於いて、他声部を聴き、皆と調和することに喜びを得、高い音楽性を目指した歌唱ができることを目的とする。	譜読みの能力を習得し、初見で歌うことができるようになること。また、他声部を聴きながら自分のパートを歌えるようになること。歌いながら曲を把握し、皆で音楽を創り上げることができること。毎回行う発声練習で、声を鍛え自分を表現できるテクニックを習得できること。
20GBSH0022	合唱表現Ⅱ	全て	社会生活に必要な、人の話を聞き、それが理解でき、自分を表現することができ、そして協調できることを目的とする。合唱に於いて、他声部を聴き、皆と調和することに喜びを得、高い音楽性を目指した歌唱ができることを目的とする。	譜読みの能力を習得し、初見で歌うことができるようになること。また、他声部を聴きながら自分のパートを歌えるようになること。歌いながら曲を把握し、皆で音楽を創り上げることができること。毎回行う発声練習で、声を鍛え自分を表現できるテクニックを習得すること。
20GBSH0023	音楽の科学	全て	音楽は今も昔も私たちの生活の一部であり、暮らしに彩りを添えてくれる。近年の研究において、音楽を聴く、歌う、演奏するといった活動を行っている時には、脳の様々な領域が働いていることがわかってきた。本講義では、音や音楽の科学的な側面と社会とのつながりに焦点を当て、音楽を享受する人間の本質の一端を明らかにすることを目的とする。	①音の3要素および音楽の3要素を説明することができる ②空気の振動である「音」が「音楽」になる過程を説明することができる ③一般の人と音楽家の脳活動の違いを説明することができる ④音楽を利用したセルフケアの方法を考え、生活の中で実践することができる
20GBSH0024	先端芸術表現	全て	膨大な情報そしてモノが溢れる現代社会において、芸術表現の手段となり得るメディアは多岐にわたる。先端芸術の「今」を理解し自ら表現することを通して、芸術表現の可能性に挑む。	まずは昭和末期から平成の今現在に至る国内外のアート・シーンの概況を捉える。そしてそこに現れた数多の技法や思考法のいくつかを理解し、自らの作品へと反映させる。コンセプチュアルな表現も多いことから、構想から制作そして作品化のプロセスを「ことば」として明確にする。
20GBSH0025	生活の中の美的感動表現	全て	ひとりひとり顔が違うように同じものを描いても、それぞれ異なったニュアンスがある、それが個性である。この授業を受けることで個性の再発見、再認識するきっかけを目的とする。	模写することにより大切なところを学習し、ガラス絵制作によりもの作りの達成感を得ることを到達目標とする。
20GBSH0026	自己発見アート	全て	アート表現を使ったセラピー的学習。ものを創造し、表現していく過程から、普段の生活では自覚しにくい潜在的な自己を発見する。自分自身をうまく表現する術、自発的にものを考える力、さらには、人とうまくコミュニケーションをとる手段などを身につける。	自分自身をうまく表現する術、自発的にものを考える力、さらには、人とうまくコミュニケーションをとる手段などを身につける。
20GBSH0027	未来造形	全て	未来について考え、そのイメージを作品として表現することで、現代を生きる自分自身が未来を構築していくための一員であることを自覚する。既成概念に捕われない発想力や想像力の育成と、基本的な表現技術の習得。	物をつくる過程を通し、創造する喜びを知る。また、他の人の作品を通し未来の多様性を感じる。
20GBSH0028	感性の書	全て	日本独自の仮名文字の変遷をたどりながら、創作の楽しさを実感させる。	書の美の表現の多様性を理解する。
20GBSH0029	書の世界	全て	書の表現や創作の楽しさを体得し、知識と教養を深めることができる。	書の文化を理解し、表現や技法を学ぶ。日常生活の中で多く活用されていることを知り、自己の生活の中で生かすことができるようになる。
20GBSH0030	日本舞踊に学ぶ着付けと作法	全て	この科目は、和の文化日本舞踊に触れながら、一人でできる着付け・人に着せる着付けを学ぶ。そして楽しみながら自然にマナーを学び、美しい身のこなしや人とのつき合い方を身につけることを主な目的としている。	“舞い”・“踊り”・“仕種”から構成される日本舞踊の作品に触れ、伝統芸術を理解し、国際化時代にふさわしい品格を忘れない魅力的な女性を目標とする。
20GBSH0031	ミュージカルの実践	全て	ミュージカルを幅広く知ってもらうため、本講義ではその入門編として概論・実践の双方を学習する。	概論・実践の双方を学習した上で、セメスター終了時にミュージカル作品の中から数シーンを研究上演することを目標としている。
20GBSH0032	歌舞伎鑑賞入門	全て	日本の伝統芸能の一つである歌舞伎について学び、その魅力に触れるとともに、そうした芸能を育んできた我が国の文化についても理解を深めることを目的とする。	歌舞伎についての基本的な知識を身につける。歌舞伎の面白さを理解する。江戸時代の文化についても理解を深める。
20GBSH0033	口承文芸入門	全て	文学の中に文字に拠らないものがある。民俗学者・柳田國男が唱えた「口承文芸」という語を、手掛かりに理解を深める。	(1)「民俗学」の内容と目的とを簡潔に説明できる。 (2)「口承文芸」の種類と内容を簡潔に説明できる。 (3)「口承文芸」が現代の私たちの暮らしとどのように結びついているか簡潔に説明できる。 (4)「口承文芸」を現代にどのように活用していくべきか自分の考えを簡潔に説明できる。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
20GBSH0034	日本の文化 I	全て	Learning own culture and sharing its knowledge with people who have different cultural backgrounds are meaningful approaches to understand the current global society. This course aims to learn important concepts of both traditional and modern Japanese culture. The student is expected to apply the knowledge to enhance their future personal and professional life.	At the end of this course, the students will be able to: -describe unique concepts of Japanese culture in English -relate the knowledge to real-life experiences. -express and share own ideas and opinions with peers. -increase awareness of Japanese culture and how it functions in their daily lives. -conduct research of the interest. -create a short movie clip
20GBSH0035	日本の文化 II	全て	Learning own culture and sharing its knowledge with people who have different cultural backgrounds are meaningful approaches to understand the current global society. This course aims to learn important concepts of both traditional and modern Japanese culture. The student is expected to apply the knowledge to enhance their future personal and professional life.	At the end of this course, the students will be able to: -describe unique concepts of Japanese culture in English -relate the knowledge to real-life experiences. -express and share own ideas and opinions with peers. -increase awareness of Japanese culture and how it functions in their daily lives. -conduct research of the interest. -create a short movie clip
20GBSH0036	遊びの人類学	全て	本科の目的は「遊びとは何か」、遊びを文化の問題として考える。遊びを文化として理解することの重要性は、遊び現象のなかに社会と文化が投影されていることを読み解いていくことにある。近年、遊びを「する」と同じくらしいに遊びを「考える」ことが魅力的なものとなってきている。遊びに凝縮・刻印されている文化と社会を文化人類学的アプローチによって、異文化理解と自文化理解の展望のもとに考察を進めていく。	到達目標は二つある。 一つは、遊びのもつ多様性を授業によって理解した上で、学生自らが考察することによって、遊びと当該社会との関連性について説明することができるようになること。 そして、遊びの本質を理解することによって、人が人らしく生き、豊かさが実感できる社会を実現するために遊びを活用する方策を創造できる力を養うことである。
20GBSH0037	SNSから日本語を見る	全て	近年、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）は、私たちの生活の中で大きなウエイトを占めるようになってきた。それは、SNSにかかわる行動だけではなく、人間のコミュニケーションにおいてもっとも重要で基本的な役割をもつといえる言葉にも影響を及ぼしている。本科目では、身近な存在であるSNSの言葉そのものに焦点を当て、表現や表記などの用いられ方に一定の法則があることなど、SNSの言葉の面白さと特徴を知ることが第一の目的とする。また、SNSで用いられる言葉の特徴やコミュニケーションのあり方について、その面白さをレポートとして記述できることを第二の目的とする。	SNSで用いられている日本語にはどのような特徴があるかを理解し、また、その特徴を知るための方法を認識している。
20GBSH0038	心理学入門	全て	本科目は心理学を初めて学ぶ人を対象として、心理学の基本的な考え方や方法論を理解することを目的としている。また、ここでは科学としての心理学を理解し、自己理解や身近な生活への活用について考える。	①心理学についての基本事項を理解し、説明できる。 ②心理学の知識を用いて、自己分析ができる。 ③心理学的視点から、日常生活や社会生活についての考えを深めることができる。
20GBSH0039	人間関係の心理学	全て	私たちは日々、誰かと関わって生活している。人間関係は大きなストレスにもなる反面、心に安らぎも与えてくれるものである。この科目では、人間関係について心理学的に理解することを目的としている。	①人間関係に関する心理学の基本事項を理解し、説明できる。 ②グループワークなどを通じて変化する自分自身について分析できる。 ③心理学的視点から、日常生活や社会生活についての考えを深めることができる。
20GBSH0040	心理学実践演習	全て	「心理学は占いのこと?」「心理学を学んだら人の心が読める?」など、心理学という言葉に漠然としたイメージを持つ人も多いと思われる。この科目では、心理学の研究を実際に体験しながら、科学としての心理学を理解することを目的としている。	①心理学研究法の基本を説明できる。 ②意欲・関心をもって、他者と協力しながらデータ収集に取り組むことができる。 ③図表などを用いて、得られたデータを適切にまとめることができる。 ④得られた結果を分かりやすく他者に説明できる。
20GBSH0041	生と死の心理学	全て	死は単に、病とともにある人や老年期の人、大切な人との死別を経験した人だけのものではなく、すべての人にとっていつか訪れ、必ず経験するライフイベントである。本科目では、生きる上で避けることが出来ない大きな課題である「死」について、「生きること」との対比を行うことで、より深く具体的に学ぶことを目的としている。	・生と死に関する心理学の基礎知識と概念を理解し、説明できる。 ・生と死の心理学における各課題について多様な視点から説明できる。 ・自らの生と死についての考え方がどのように形成されてきたかについて説明できる。

基礎教養科目群 社会科学科目

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
20GBSS0001	アウシュビッツ 戦争と女性	全て	「戦争を知りたい」 こう考える学生は確実に増えている。2019年度は定員100人に対して約5-600人の受講希望があった。2018年3月には18人の学生がポーランドのアウシュビッツを訪れ、その目でホロコーストの現場を確かめた。うち2人は現在、ワルシャワ大学に留学中である。なぜ行動力を伴う学びができるのか。これまで学んできた「戦争」は年表や地名・人名を記憶する「現代史」の一部であった。その時代を生きた人々の息遣いを感じる教育に巡り合っただけでなかった。たしかに戦争体験者は減っていく一方である。戦争遺跡も消えている。しかし、若者の関心は薄れるばかりだろうか。自問しなくてはならない。人間の歴史として位置付ければ、興味を抱ける。ここに授業の力点が置かれる。第二次大戦の最大の惨禍とされるアウシュビッツとヒロシマ、そしてわが国で唯一戦場となった沖縄。女性たちにも容赦なく悲劇は襲った。担当者は新聞記者としてその場に立ち、膨大な証言と遺品に向き合ってきた。学生たちは初めて知ることが多いだろう。登場するのはすべて、みなさんと年齢の変わらない女性ばかりだ。戦争遺跡の保存、証言者からの継承など、新しい試みを織り交ぜて展開される。「知りたい」気持ちが沸いてくる。	「戦争はいけない」 それは小学生の感想である。大学生ならそこから一步踏み出せる。目を背けていては何も生まれない。向き合うことからはじめられる。酷い事実や映像も出てくるが、受講した多くの学生は凝視してきた。これまでに受講した学生のうち計27人が自らアウシュビッツを訪問している。広島・長崎、沖縄に行き、授業で学んだ戦争を現地で追体験した学生も多い。このように生まれた関心を「行動」にまで高めることは大きなことである。戦争を考える場は数多くある。「火垂るの墓」もここ西宮が舞台だ。母となって、教壇に立って子供たちに問われてもたじろがないぐらいの知識は身につけたい。授業を通じて、祖父父母の戦争体験を聞くようになった学生たちもいる。自宅に持ち帰った授業資料をもとに家族と語り合うという受講者もいる。戦争を遠い世界の出来事と思わないようになること。それを目標にしよう。「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ」という言葉がある。その意味を確かめる機会にできる。
20GBSS0002	世界の大学事情	全て	ここ30年くらいの間に急速に高等教育への進学率が上昇し、進学者が増加している。高等教育の大衆化である。なぜ世界各国においてこうした大衆化が急速に進んだのか、各国では大衆化に伴いどのような事態が進行しているのか、大衆化が大学教育にいかなる変化をもたらしたのかなどを理解し、現代社会における高等教育の意義、国際社会の中でのあり方を考える契機とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・取り上げる国々で、どのようにして大学が発達していったのか、その歴史と特徴を知る。 ・なぜ近年、各国で大学進学率が大きく伸びているのか、国々を取り巻く状況やグローバル化の影響を考える。 ・大学で学ぶことの効用、大卒者の割合を高めることによる社会インパクトについて考える。 ・各種データを示すので、そのデータから大学を取り巻く変化の要因や課題について解釈できる。
20GBSS0003	現代世界の教育	全て	現代世界の主な教育事情に注目し、それらにみられる特徴を明らかにし、世界の教育の動向を知ることによって、日本の教育の課題についてともに考えることを目的とする科目である。世界の主だった教育事情の概要およびそれとの関連で日本の教育の課題について受講生が理解し、説明できるようになることを到達目標とする。	<ol style="list-style-type: none"> ①世界の教育についてつかんだイメージを、具体的に説明できる。 ②日本との違いについて、その背景を含めて理解したことを、説明できる。 ③グループ活動等を通じて、幅広い視野で物事を考えることができる。
20GBSS0004	情報化と教育	全て	情報化（科学技術の進展）が社会や学校教育に及ぼした影響や、情報の特性（意図の介在や情報の残存性・複製など）について理解を深めるとともに、情報社会に必要な知識や心構えを学ぶ。また、グループ討議や自主研究を行う中で多様な考えに接し、思考を深め、表現する力や協働的な課題解決の姿勢を養う。	<ol style="list-style-type: none"> (1) 教育の歴史や教育の新しい流れについて理解を深める。 (2) AIをはじめとしたイノベーションに伴う諸問題について理解を深める。 (3) 情報化（科学技術の進展）に伴う諸課題（AIとの共存、個人情報保護と情報公開など）について、自らの考えを明確にできる。
20GBSS0005	差別と暴力のない世界をめざして	全て	急激な変化を見せている現代社会において、未来世代の子どもたちと共に新しい人権・平和文化を育むことは、教養教育に課せられた大事な仕事である。そのために、人権・平和に関する諸問題について研究を行い、個人の尊厳を重んじ、真理と正義を希求する人間形成のあり方を探求する。	人権、平和に関する諸問題が生じる要因について、科学的に認識するとともに、その解決に向けて行為、行動できる市民的資質、力量の修得を目指す。また学習過程において、自ら問題意識を深め、課題を発見し、自主研究できる能力を身につける。
20GBSS0006	メディアに映る女性	全て	ソーシャルメディアをはじめとする様々なウェブメディアが生活の隅々まで行き渡り、長く暮らしに密着してきたテレビ、新聞、出版など既存のメディアと混在している。情報がすぐ得られる便利さの反面、フェイクニュースが氾濫し、私たちは「確かな情報源」を見失って逆に不安を募らせていないか。今こそ、情報の虚実を見分け、主体的に選ぶ力が必要だ。「女性活躍社会」等の耳ざわりの良いかけ声に惑わされず、女性に関する情報がメディアでどのように発信されているか、注意深く読み解く力が重要になる。 本科目では、新聞、雑誌、広告、ホームページなど様々なメディアが映し出す女性の今を「送り手」と「受け手」の両方の視点で探り、真実に迫るスキルと習慣を養うことを目的とする。	世論が多様化し、常識が通用しなくなるこれからの時代、情報の真偽を見分ける選択眼、自ら真実に迫る調査力は、生きていく上で欠かせない力であり、身を守るうえでも役立つ。記者の取材ノウハウには、そのヒントが詰まっている。なぜなら記者一人ひとりがその取材過程において、真実追究の基本動作を守っているからだ。学生は記者の目になって「女性」を手掛かりに資料を探し、調べ、人から話を聞き、真実に迫るプロセスを体験する。本科目では、実践的な活動を通じて、性差に根差す価値判断に敏感になること、情報をクリティカルに読み解く習慣を身につけることが目標となる。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
20GBSS0007	カウンセリングの実際	全て	さまざまな分野から必要性が求められている対人支援のカウンセリング。その実際を理解し、基礎力を身につける。	<ol style="list-style-type: none"> 1.対人支援において人を理解するとはどのようなことかの説明ができる。 2.心のバランスを崩した状態の説明ができる。 3.性格や心の葛藤についての説明ができる。 4.支援するときの聴き手の基本的な態度が習得できる。 5.対人支援におけるもの見方について説明ができる。
20GBSS0008	カウンセリングスキル	全て	現在、関心を集めている心理カウンセリング。人を支援すること（ヒューマンサポート）を目的としたカウンセリングの具体的な技術（スキル）を身につける。	<ol style="list-style-type: none"> 1.人とかかわるときの言葉かけや質問の仕方が身につく。 2.非言語コミュニケーションについて説明ができる。 3.人を支援するときのさまざまな価値観について説明ができる。 4.人や家族を支援するときの基礎的な面接技術が身につく。 5.的確にさわやかに自己表現できる。
20GBSS0009	実践カウンセリング	全て	カウンセリングの基本的な考え方、方法を学び、生活や仕事に役立つための実践力を身につける。	<ol style="list-style-type: none"> 1.人を支援するときの原則が説明できる。 2.対人支援において人の話を聴くときの基礎力が身につく。 3.人を理解することの説明ができる。 4.家族評価について説明できる。 5.グループで協力して支援する意味を説明できる。
20GBSS0010	災害と子ども・家族	全て	地震・津波や台風など、近年大規模災害が多発している。災害により家族を失ったり、生きてきた「原風景」を壊されたりした子ども・家族はどのような心の問題を抱えるのだろうか。その実際に触れ、個別・多様性を理解し、子ども・家族への支援のあり方を考える。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事例を通して、災害にあった子ども・家族の多様な、複雑な「心」とその「表出」の意味を受けとめ述べるができる。 2. 災害を直接的な被害（一次災害）とその影響下で生じる社会的な傷つき（二次災害）とに分別し、二次災害に対する支援のあり方を構想し、述べるができる。
20GBSS0011	生きがい探しのボランティア論	全て	「生きがい探しのボランティア論」という科目は、全国で唯一開講されている科目です。生きがいとは、本来自分自身で見つけるものです。他人に強制されるものではありません。人生の入り口にいる若い皆さんが、悩んでいることも事実です。ボランティアという行為を通じて、少しでも自分自身の良さに気づき、他者への温かい眼差しが持て、また自分自身で考え行動できる優しさの中に強さを持った人になれることを望んでいます。	1995年1月17日早朝に起きた阪神・淡路大震災。その救援活動に、全国から多くのボランティアが馳せ参じました。これをもって、ボランティア元年と称しました。これ以降、ボランティアという言葉が、一般的になりました。しかし、改めてボランティアの意義や歴史を学ぶことで自分の生きる座標軸を見つけることを目標とします。また、実際に大学や地域の各種のボランティア活動を紹介しますので、自主的に参加できるような意識をもつようにします。
20GBSS0012	生涯福祉論	全て	学生が、福祉における「ゆりかごから墓場まで」の生涯を通して日常生活で「快い生活とは何か」というサブテーマを考えながら授業内容に関係する基本の福祉制度を知ることができる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学生が、学習した制度が自分の身近な生活の中に関わっていることに気付くことができ、福祉が自分の生活に密接していると理解することができる。 2. 学生が授業を通して、福祉の領域での「快い生活とは何か」について、そして快い生活を目指して「自分はどう生きるか」について考え、述べるができる。 3. 学生が、授業内で配布する新聞スクラップ記事に疑問を持ち、その疑問を調べ、考え、他者に伝えることができる。 4. 学生が、学部を超えてグループワークやディスカッションを通して、自分の考えを具体的に述べ、時にはグループメンバーの述べることに質問をし、さらに自分の考えを広げ、他者の考えも尊重しながら議論することができる。プレゼンテーションの時には、グループメンバーと協力して自分の役割を果たすことができる。
20GBSS0013	社会福祉とボランティア	全て	学生が、福祉における高齢者の介護、医療、障がい者、そして貧困の分野の中で、「よりよい生活の確立」とボランティアについて考えながら、サブテーマである「生きる力」にどのようにつながるのか具体的に考えることを目的とする。	<ol style="list-style-type: none"> (1) 学生が、授業で学ぶ分野の現状とその基礎的な知識と制度を学び、制度の限界（法の隙間）の中でボランティアの必要性を考えることができる。 (2) ボランティア経験が「ある」と「ない」学生が、ボランティア紹介の時間によって相互に作用し、さらに自分のボランティア活動についての価値観を考えることができる。 (3) 学生が、学ぶ分野の中で「生きる力」と自分自身の生きる力を考えることができ他者にそれを伝え、それが生活する上で大切なことであることを認識することができる。
20GBSS0014	聴覚障害者の理解と手話	全て	聴覚障害者の理解につながる基本的な事柄を学ぶことにより、広く障がいのある人々を理解すると共に、グローバルな視野に立って、共生社会の意味を考える。また、聴覚障害者のコミュニケーション手段の1つである手話について、簡単な日常会話ができる程度の基礎的な内容を養うことを目的としている。	<ul style="list-style-type: none"> ・聴覚障害者の理解につながる聴覚障害の基本的なところを学ぶ。 ・聴覚障害者のコミュニケーション手段の一つである手話を使って、簡単な日常会話ができるようになる。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
20GBSS0015	福祉レクリエーションの実際	全て	福祉レクリエーションとは、高齢者や障がい者に多く見られる生活支援を必要としている人々に対して、身体的・精神的な健康を意図して行われるレクリエーションの一分野である。ともすれば、専門職に就く人間にのみ必要と特別扱いされ敬遠されがちな分野であるが、コミュニケーションやレクリエーションの方法を実際に体験しそのスキルを身につけるとともに、学生自身がおかれている家庭環境や社会環境を通じて、そのスキルや考えがこの社会で生活するすべての人間が必要なことでありと理解することを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身の福祉的な環境について認識する。 ・レクリエーションの意義を実技を通じて体感する。 ・身近な福祉の環境を想定しながらレクリエーションやコミュニケーションを計画する。 ・身近な福祉の環境にレクリエーションを実施する。
20GBSS0016	子育てと家族関係	全て	家族の中には、夫婦、親子、兄弟姉妹などといったさまざまな関係が存在している。将来、親として子どもに接する自分像、あるいは家族像を構築するために、青年期から成人期における女性の発達をこれらの家族関係とのかかわりでとらえることにより、現在の家族の一員としての自分を再確認することを目的としている。	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の意味と機能を説明することができる。 ・家族の中の人間関係について振り返り、各々の役割を整理することができる。 ・家族の中で自分の果たせる役割を見つけることができる。
20GBSS0017	「ふつう」を考える社会学	全て	私たちは、「ふつう」という言葉をよく使う。その「ふつう」とは、どこまでが「ふつう」で、どこからが「ふつうでない」のか？社会の中でその境界線がどのようにしてつくられるのかを考え、生活世界について多様な見方ができるようになることを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・物事を単体で見るとはならず、他の文化や社会と比較しながら相対的に説明できる。 ・情報を鵜呑みにするのではなく、その物事が置かれていた社会的状況において考察することができる。 ・物事を今という状況だけでなく、歴史的な文脈のなかで意味づけることができる。 ・科学的知を、生きていく力に活かすことができる。
20GBSS0018	子育てと母性の気づき	全て	現代は、女性の社会進出によるライフスタイルの変化や、日常生活における乳児との接触機会の減少などの影響により、「産む」「育てる」ことが、個々の選択により委ねられる時代になったといえる。これをふまえた上で、出産というライフイベントに対する興味を喚起することを目的としている。	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の発達について説明することができる。 ・多くの人の持つ母性に対するイメージについて述べるができる。 ・子育て中の母親に対して配慮することができる。
20GBSS0019	環境心理学入門	全て	この授業では、学生が身の回りの環境と私たちの心の働きとがどのように関連するのかを学び、理解できるようになることを目的とする。	学生が、身の回りの環境と心の働きとの関連を理解し、環境的影響の観点から、私たちの日常的な行動について理解できるようになる。
20GBSS0020	現代社会と憲法	全て	日本国憲法の理念、体系について学ぶとともに、日本国憲法が具体的にいかなる形で日常生活に影響を与えているかを知ることによって、法的な思考プロセスの基礎を養うことを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法への関心および基礎的な理解を深める。 ・法的な思考プロセスへの親和性を高める。 ・日常生活における様々な事象について、法的な視点から考察するための基礎を身につける。
20GBSS0021	教養としての法律	全て	初めて法律を学ぶ学生に対して、法律とは何かを学んでもらうとともに、身近な事例を題材として、法律が生活とどのように関わっているのか、いろいろな角度から考えてみることを目的とする。	日常生活に関係する法律問題について興味関心を持ち、法律が身近に感じられる。
20GBSS0022	暮らしと法律	全て	初めて法律を学ぶ学生に対して、法律とは何かを学んでもらうとともに、身近な事例を題材として、法律が生活とどのように関わっているのか、いろいろな角度から考えてみることを目的とする。	日常生活に関係する法律問題について興味関心を持ち、法律が身近に感じられる。
20GBSS0023	女性と子どものヘルスケア	全て	この科目の女性のヘルスケアに関しては、思春期から老年期までの女性に特有な健康課題、および健康を増進し、疾病を予防するためのセルフケアについて学ぶ。さらに子どもの成長に伴う身体的特徴、病気や事故の予防のための手立てや対策、罹りやすい病気や症状に対するケア方法について学ぶことを目的とする。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 女性に特有な健康課題を述べるができる。 2. 女性の健康増進と疾病予防のためにできるセルフケアを説明できる。 3. 自らの健康や、女性の健康に関する社会問題への関心の高まりを示す。 4. 子どもがどのように成長し、どんな身体的特徴を持っているかを説明できる。 5. 子どもが罹りやすい病気や起こりやすい症状に対する知識とケアの方法をあげることができる。 6. 病気や事故に対する予防方法について説明できる。 7. 子どもがもつ権利や最近の小児医療について理解し、課題に対する自らの考えを述べるができる。
20GBSS0024	外国から見た日本社会のしくみ	全て	This class will examine and interpret modern Japanese society and culture as seen in the popular drama "The Emperor's Chef".	This class will prepare students to better understand and discuss Japanese society and culture with persons living within Japan and foreigners living outside of Japan.

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
20GBSS0025	都市形成のあゆみと都市生活	全て	私たちをとりまく都市が、どのようにして生まれ成長してきたのかを読み解くことで、普段何気なく暮らしている都市や都市での生活について再認識することを目的とする。	都市や都市での生活の再認識をおこなうことにより、現代都市の課題と将来展望を認識し、社会の一員として、まちづくりやエアーマネジメントの必要性を理解し修得することを目標とする。
20GBSS0026	経営学入門	全て	我々の多くは、大学卒業後に企業で働くことになる。経営の分野においては20世紀初頭以降、様々な理論が生み出されてきた。本講義ではそうした理論である経営学の概要を、初学者向けに紹介する。	<ul style="list-style-type: none"> ・企業が存在することの意義と、そこで働くことの意義を確認できる。 ・企業経営に関する主な理論の流れを大まかに理解できる。
20GBSS0027	消費者生活論	全て	この科目は、学生が充実した消費生活を営むために、確かな目で商品・サービスを選択し、安全、安心な豊かな生活を手にすることができるようになることを主な目的としている。また、自身の消費行動が国内だけでなく世界の経済や環境に影響することについて学び、消費者市民としての行動について考察することにより、卒業後の社会生活に活かせることを目的とする。	<p>学生が授業を通じて、消費者市民として個々の特性を尊重し、社会、経済、環境など幅広い視点から消費生活について論理的に思考し、問題解決力を養うことを目標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者問題に関心をもち、日常生活の中でトラブルに巻き込まれないためにはどうすればよいか意欲的に学習し、行動することができる。 ・安全・安心な生活を送るための知識を習得し、他者に説明することができる。 ・情報感度を高め、正確な情報を入手し、消費者市民としての行動を3つ以上説明することができる。
20GBSS0028	日本経済のしくみ	全て	This class will help students understand the evolution of the Japanese economy and its place in the world through the popular drama "Hanzawa Naoki".	This class will prepare students to better understand and explain the Japanese economy to persons within Japan and to foreigners living outside of Japan.
20GBSS0029	英語で学ぶやさしい経済学	全て	私たちの日常生活は経済と密接に関連しており、その身近な経済活動がグローバル社会の動向に大きく影響している。経済はビジネス・政治も大きく関わっており、グローバルな視野を持ち社会の一線で活躍する社会人には不可欠な知識である。この科目では、経済学の基礎知識を日本語と英語を学び、将来のキャリアに活かせる教養を身につけることを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な経済学のコンセプトを説明することができる。 ・英語経済用語を理解し、英語経済ニュースの内容を理解できる。 ・経済活動や時事ニュースを専門的かつ論理的な思考で分析できる。 ・グループワークを通じて、お互いの意見について議論し、そこから1つの結論を出すプロセスを身につける。
20GBSS0030	英語で学ぶお金の知識	全て	お金は我々の日常生活に深く関与しており、一生続いていく個人的な経済活動である。それ故にお金に関しての正しい知識を持ち、賢く管理することは、人生設計にも大きな影響を与える。この科目では、大学生生活や将来のライフイベント、(就職、結婚、育児、老後)などに備えて、必要なお金の知識を日本語と英語で学び、自分の生き方にあったお金の活用方法を身につけ、合理的なライフプランを設計できる、ファイナンシャル・リテラシーを身につけることを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的なパーソナルファイナンスのコンセプトを説明することができる。 ・英語金融用語を理解し、英語金融ニュースの内容を理解できる。 ・日本と海外のパーソナルファイナンス事情を比較することができる。 ・経済活動や時事ニュースを専門的かつ論理的な思考で分析できる。 ・グループワークを通じて、お互いの意見について議論し、そこから1つの結論を出すプロセスを身につける。
20GBSS0031	我々の暮らしと日本の産業	全て	我々の生活は、様々な産業が提供するモノやサービスによって成り立っている。本講義では、産業とは何かを経済との関係でとらえた上で、日本の産業の移り変わりについて学ぶ。また、産業に対して政策が果たした役割について考え、日本の産業が抱える問題や課題を浮き彫りにする。さらに日本の第二次産業および第三次産業のなかから特徴的な業種をとりあげ、その歴史、特徴、課題等を学ぶとともに、今後の産業の姿を展望する。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の産業構造の変遷を学び、日本の産業の実態と課題について基礎的な知識を踏まえて説明できる。 ・主要産業の歴史や特徴・課題について、分析・評価できる。 ・学んだ内容を、就職活動や社会人として行う業界研究に応用することができる。
20GBSS0032	情報と社会	全て	現代社会では様々な場面で情報通信技術（ICT）が利用され、人々の生活や社会に大きな影響を及ぼしている。こうした情報社会では、パソコン、携帯電話、インターネットなどの普及と、様々な情報のデジタル化が進みつつある。本科目では、その動向を知り、情報化の必然性を理解する。また、個人として情報社会を生きてゆく上での基礎知識を習得し、日々の生活に活かせるようになることが目的となる。	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会が情報社会と呼ばれる理由を説明できる。 ・情報社会での社会生活や人間関係がどのように変化してきたかを説明できる。 ・自然災害発生時や情報社会特有の様々なリスクを理解し、対処方法を実践できる。
20GBSS0033	メディア技術と文字デザイン	全て	誰もが情報発信者となりうる高度情報化社会において、わかりやすく情報を発信していくための知識や技術は、あらゆる人にとって必要なことである。本科目では、メディアテクノロジーと文字（書体/タイプデザイン）の歴史を紐解きつつ、メディアテクノロジーの進化が、人々の知覚にどのように関与してきたかを考察する。それらを通して、人々の「みる」行為を意識するとともに、自身の情報発信のあり方（デザイン）を見直し、よりよい発信のための思考を身につけることが、本科目の目的である。	<ol style="list-style-type: none"> 1. デザイン表現に関する基礎知識や思考法を説明できる。 2. 研究発表（スライド、ポスター）やビジネスシーンにおいて必要とされる、適切な情報表現法を実践できる。 3. メディアテクノロジー史を通じて、表現メディアと社会との関係性を説明できる。 4. 「よむ」ための文字だけではなく「みる」ための文字に対する審美眼を養い、自身の情報表現に活用できる。

基礎教養科目群 自然科学科目

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
20GBSN0001	エコロジーと私たちの暮らし	全て	21世紀最大の課題は地球温暖化問題を筆頭とする地球環境問題の解決である。地球環境問題の実態を知り、その解決法を探る。	地球環境問題の実態と解決方法をプレゼンできる。
20GBSN0002	科学から考える生活の材料	全て	人類はモノを使って生きている。原始的なモノは天然物を加工しただけであったが、とりわけ産業革命以後は天然にない物質を次々に生み出し、生活を一変させた。現代生活は便利で快適になった一方で、モノはブラックボックス化し、人々は溢れる情報に流されやすくなっている。また、環境や健康に関する新たな問題も引き起こされている。材料に対する科学的知識が欠如した製品作りや消費行動は、それら負の側面を増大することに繋がる。本授業で現代生活の身の回りのモノを構成する物質を科学の眼で捉える能力を養うことで、生活の質向上や環境保全への貢献に繋がるだろう。	レベル1. 身の回りのモノを構成する物質の種類や背景、歴史を知る。 レベル2. 物質の性質を正しく理解する。 レベル3. 科学的視点によって、消費行動の改善や適切な製品作りが行える。
20GBSN0003	数的能力の発達過程	全て	数学は人間の生活を豊かなものにし、遠い未来を見据えた大きな課題から身近な課題まで多くの問題の解決に寄与してきた。しかしながら算数・数学でつまづいて苦手になった人は多い。数や数学の発生過程から現代社会における数学的考察の大切さを考えることで、算数・数学の面白さ、有用性を実感することを学び、その過程を通して、主体性に課題を解決するための数学的アプローチを身に付け、論理的に物事を考察する能力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・数の発達についての歴史を理解する。 ・日常生活の中における数的能力の重要性を理解する。 ・数学的思考による問題解決を図ろうとする態度を持つ。 ・数的能力を向上させる段階を理解する。
20GBSN0004	数や図形の科学	全て	「数学なんて何の役に立つのか」と思っている人が多いかも知れない。しかし、私たちの生活の中には数字があふれているだけでなく、自然界には美しい数学的な秩序がいっぱい潜んでいる。本講義では、中学校や高等学校の教科書に掲載されている数学の歴史や文化に関する話題や、日常生活や自然界にある数や図形の美しさ・不思議さを知ることができる話題を取り上げ、算数・数学の面白さ、日常生活との結びつきなどを発見し、探究的な態度や論理的思考力を修得することを目的とする。	<ol style="list-style-type: none"> (1) 日常生活や自然界にある数や図形の美しさ、不思議さに気づく。 (2) 様々な場面で数学が活用されていることを知り、自然科学に対する興味関心を高める。 (3) 柔軟な思考力、数学的表現力を養う。
20GBSN0005	文化を創造する数学	全て	文化を創造してきた数学の世界を知的探究することを通して、社会人としての基礎的教養を伸長することを目的とする。具体的には江戸時代の日本の数学「和算」から今日的な数学の話題まで、数学のよさを見出したり、解法を説明したりする数学的活動を通して、大学入学までに学習してきた数学の意味や意義を考察する。	<ul style="list-style-type: none"> ・文化を創造してきた数学の文化的価値・陶冶的価値について説明できる。 ・数学の基本的問題を解決することができる。 ・「算額」と「統計的問題解決レポート」を作成することができる。
20GBSN0006	生態学的視覚論	全て	ヒトや動物が、生活している環境に適応したすぐれた視覚認知能力を持っていることを学ぶ。我々は、ヒトとして進化する中で、自然環境や自分たちの作った人工の環境に適した能力を獲得してきた。「ものを見て理解する」視覚認知能力も、我々の生活する環境のあり方と無縁でないことを、身近で具体的な例を見ながら考える。	日常何気なく接している私たちを取り囲む環境のあり方が、私たちの持つ優れた視覚認知能力を育んできてくれていることに気付いてもらい、人間や動物が周囲の環境と密接な関わりの中で生きていることを、実感してもらうことを目標とする。
20GBSN0007	視覚認知	全て	だまし絵やオプティカルアート等、不思議で興味深いパターンを題材にして、視覚と我々を取り巻く環境との相互作用の中で発達したヒトの“ものを見て解釈する能力”について考える。具体的にパターンを見ながら、ヒトの視覚認知の持つ特徴とそのメカニズムについての理解を深めることを目標とする。	ものを見て理解するという、当たり前の我々の視覚認知が、案外「危うい」側面を持っていることに気付いてもらうと共に、その「危うさ」の裏返しとして、すばらしい世界を伝えることができることを実感してもらう。
20GBSN0008	生命科学入門	全て	「生物」「いきもの」に関わるテーマについて、自分の身の回りの事柄を科学的に考察し、知っている事実からその現象を連想し理解することで、「生物学」「生命科学」に対する探求心を養うことを目的とする。	<ol style="list-style-type: none"> 1) 生命科学を体系的に把握するために、大きな視点と小さな視点の両方から「生命」について理解できる。最新の細胞・分子生物学では非常に小さな事象を扱うため、できるだけ大きな視点から始めて、自分自身のこととして捉えられるように学習する。 2) 身の回りに起こっている生命に関わる様々な事象を、科学的に理解できる。
20GBSN0009	身近な動植物の起源と歴史	全て	私たちの衣食住のいずれでも、動植物に由来するものが多い。それらの多くは、人類が自らの生活に役立つように、品種改良したものだ。これまでの人類の英知の結晶であると言っても過言ではない。一方で、それらの動植物の利用法は、生活様式の異なる国ごとに大きく異なる。その起源をたどりその歴史を学ぶことは、知識量が増えるだけでなく、将来の日常生活をより豊かに楽しいものにするだろう。	衣食住の生活にかかわる動植物を通して、まず人類の歴史を学習する。現代人の常識は100年前の人々の常識ではない。さらに、世界の交流の歴史や世界における日本の独自性を認識する。日本人の常識は世界の常識ではない。外国人の眼で日本の衣食住を見直したい。国際人としての教養と感性を身につけるのが授業の目標である。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
20GBSN0010	生命の恒常性と情報伝達	全て	生命体が自己保全のために、如何に恒常性を維持しているか、そのための制御機構がどのようになっているのか、情報伝達機構を中心に理解を深める科目である。特に理系の学生にとって備えておくことが望ましい教養を各分野の最先端で研究されている先生方にお話しいただきますので、生命体において生命を維持し、身体を如何に形成するかについて、必要な知識やそれを支えるための基礎研究がどのように行われているかについて知り、教養として身につけることを目的とする。	生命維持のための恒常性を維持するための機構として、情報伝達機構がどのように作用しているのか、現代の治療の現場において生命科学的知識や手法をどのように駆使しているかを認識し、生命の維持と恒常性の関係、恒常性を維持するための情報伝達機構の存在を認識することを目標とする。
20GBSN0011	環境問題の歴史	全て	21世紀の最大の課題は環境問題の解決である。21世紀に生きる皆さんに必要なものは、環境破壊や環境問題に関する知識と環境影響に対する秀でた感受性である。本講義では、古代ギリシャから現在までの環境問題の歴史を学びその教訓をいかに生かしていけばよいかを考える。	過去の環境問題がいかに生じてきたか、またどのように解決されてきたかをプレゼンできるレベルを目指す。
20GBSN0012	科学技術の歩み	全て	明治期の主要産業は絹製品、綿製品であり、さらに大正・昭和期にはレーヨン・スフという再生繊維に進歩し、太平洋戦争後には合成繊維が登場する。本講義では繊維を切口に明治期以降の科学技術の進歩の歴史と経済の歴史を俯瞰する。	日本の繊維産業の興亡を通して、日本の科学技術の進歩の歴史をプレゼンできる。
20GBSN0013	生命科学の基礎	全て	21世紀は生命科学の時代といわれている。本講義は皆さんが興味を持っている血液型と性格の関係・恋愛と血液型の関係、さらに借り卵子や代理母などの生命倫理、またDNAの本質を社会学的な視点を保ちつつ理解することを目指す。	DNAの働き、借り卵子、代理母などの実態をプレゼンできる。
20GBSN0014	科学への入門	全て	最先端の研究成果を取り入れつつ小・中・高等学校で学んだ理科から発展させ、物理、化学、生物、地学の基本的な知識や科学的なものの見方、考え方について深め、全ての人々が理解する必要のある一般教養としての科学を身につける。	(1) いくつかの日常生活で見られる自然現象をとりあげ、小・中・高等学校で学んだ理科の知識や考え方をふまえて解き明かすと共に、最先端の自然科学研究の成果をふまえて、自然現象の理解の仕方を身につける。 (2) いくつかのトピックをとりあげ、科学の歴史や社会と科学の関わりなどの面から考察し、科学を人間の営みとして捉え直す。
20GBSN0015	生活の中の物理学	全て	身の回りで見られる題材から、日常生活の素養となる物理学を習得する。論理的／数理工学的な考え方で自然を眺めたり、応用する力を養う。物理に限らず、科学的なりテラシー能力を得られるよう広い話題から講義を進める。	ものごとのしくみ・背景にある自然法則の理解を通じて、普段の生活をより一層味わい深いものにする。また、数量的な見積りや論理的思考を日常的に行う習慣を身につけ、擬似科学に騙されないような感覚を取得する。
20GBSN0016	最先端物理学が描く宇宙	全て	物理学の歴史的な進展も交え、我々が現在までに得ている「宇宙」の観測的描像と理論的描像を紹介する。論争によって発展をつづけた科学的世界観や、宇宙物理学の諸問題を理解する。現代物理学の2つの柱である相対性理論・量子論を紹介し、宇宙が膨張していること・ブラックホールが存在していることはどうやってわかったのか、素粒子の確率解釈が必要となった理由は何かなど、物理学の根源的な問題を(数式ではなく)論理的な展開を軸に解説する。自然界を解明していくサイエンスに触れ、教養を得るだけでなく、広くて柔軟な思考を身につけて欲しい。	宇宙物理学をキーワードに、物理に対する考え方や取り組みを理解する。現代物理学が描き出す、非日常的な不思議で壮大な結論を理解する。教科書にないような最先端の事柄を調べ、科学的・論理的な説明ができる能力を養う。
20GBSN0017	微生物がつくる発酵食品の不思議	全て	私たちの生活の中で当たり前になっている食品が、どのようにして作られているのかについては、あまり知られていない。そこで、“食品がどのように作られているのか?”、“発酵食品とは何か?”、“微生物がどのように食品に関与しているのか?”など不思議な謎を解く講義を通して、食品をより理解することを科目目的とする。	様々な微生物の性質や発酵食品などの加工食品がどのように作られているのかを微生物学的に、科学的に、食品学的に、食品加工学的に理解し、食品へのイメージを高め、これからの食生活をより豊かにすることを到達目標とする。
20GBSN0018	色彩情報	全て	私たちの生活は色にあふれている。衣・食・住、どれをとっても色彩が施されており、生物にも自然にも色がある。では、みなさんが見ている色と隣の人が見ている色は果たして同じ色なのだろうか? 本科目では、色の基礎知識として、色の見えるしくみ、色を正確に伝達する手法、その他、生活の中にもみる色情報のしくみを理解することを目的とする。	1. 色はなぜ見えるのかを説明することができる。 2. 色を正確に伝達する手法を用いて色の説明ができる。 3. 生活を営む上での色の役割を説明することができる。 4. 学修した色に関する知識を実生活で活かすことができる。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
20GBSN0019	科学から考える衣服と生活	全て	衣服といえば一般的にはファッションが想起され、デザインや流行といった文化的側面に目が行きがちであるが、物としての基本的価値、例えば身体を寒暑等から守ることで人類が地球全体に活動範囲を広げられたことなどを忘れてはいけない。衣服の科学的知識やその根底の考え方は衣生活において極めて重要で、大学等でも古くから系統的に研究され、教えられてきた。本講義では、衣服に関する科学的領域について、人体生理から素材、環境問題まで広くその科学的知識や考え方を教授するとともに、より良い衣生活について受講生と共に模索したい。科学と生活のかかわりに気付くことで、科学を普段の生活に役立てられるようになるだろう。	まずは、受講生がより健康的で快適な衣生活を実践できるようになってほしい。また、家庭生活やアパレル系職業、幼・保から高校までの教職等、各自の活躍する場において周囲に正しい知識や情報を適切に伝えられ、グローバルな視点で社会全体がより良い衣生活に向かうことを期待したい。
20GBSN0020	健康を支える仕組み	全て	ヒトの生命の誕生から成長、加齢を通して「健康のための生命科学」を展望します。「いのち」はいつ始まり、いつ終わるのだろうか。また人間の尊厳とは何なのだろうか。現在、生命科学は驚くべき進歩をとげたが、あらためてこのような難問に直面している。先端医療の急速な発達に伴って、われわれは従来のやり方では十分に扱えない倫理的問題に直面している。本講義では、生物の持つ共通の原理・仕組み（生物の構造・機能・遺伝子、情報処理）を理解し、生物の有する機能を人類の健康や福祉に役立てることができるということを理解する。	健康に関する情報を発信するが、講義を聴いただけでは健康にはならない。ヒトの生命システムをよく理解し、学んだことを実践し、健康に努めることが目標である。
20GBSN0021	生活習慣と脳と心と身体の科学	全て	MUKOJO ACTION・VISION「一生を描ききる女性力を。」を具現化していくためには、まず、自分自身の「脳」と「こころ」と「身体」を健康に保つ必要があるが、その鍵は「睡眠」「運動」「食事」「ICTとの付き合い方」など基本的な生活習慣にあることが科学的にも明らかとなっている。本講義は、大学生活を始めるにあたり、さらに、将来、社会人として、母親として、また、保育士・教師、看護師・助産師・保健師、心理士など対人援助職に就くことを見据え、生活習慣を自分の意志と行動でコントロールするための科学的な知識を身につけ、実践していくきっかけとなること、将来、臨床現場で活かせる基盤を整備することを目的とする。	ヒトは昼行性の哺乳類の一種であること、その進化の過程で「脳」や「こころ」と呼ばれる高次脳機能を発達させてきたこと、そして、その「脳」や「こころ」、また、「身体」や「生命」は、「睡眠」「運動」「食事」「ICTとの付き合い方」など日々の基本的な生活習慣により、ある程度コントロールすることができること、さらに、発達は胎児期からすでに始まっているという視点とその重要性を踏まえ、 <ul style="list-style-type: none"> • そのための知識を身につけることができる。 • それらを整理し、他者に伝えることができる。 • それに対する他者の考えを加えて、自分の考えを適切に修正できる。 • 自分自身の生活習慣を見直し、継続する意識付けができる

基礎教養科目群 国際理解科目

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
20GBSI0001	大阪の地域文化と東アジア	全て	上方とよばれ、関西とよばれる京大阪を中心とした地域の文化は、300年ほどしかない東京とは明らかな文化的な位相が今も根強く生きている。「はんなり」という言葉は「華やかなり」が語源であるともいう。文化の伝統と新気風の両様を尊ぶ関西文化の諸相を様々な人々の生き様から探っていききたい。	興味ある時代と人物をとりあげ、現代との関連にポイントをすえて、今の我々の歩みをも考えていきたい。
20GBSI0002	韓流ブーム	全て	韓国と日本というアジアの隣国相互理解について考えたい。義理や儀礼を守り、人情に篤い国民性の韓国と日本は、驚くほどに似たところと、意外なほどに異なるところがある。現代韓国の文化、社会、また民俗や風俗と広く歴史や古典まで含めて、学び、感じ取れる講義を構築したい。	本講義を通じて、韓国文化を正しく理解してより深い理解をきわめていくことは表面的「韓流ブーム」を越えて、自らをとらえなおして日本のより深い理解にもつながるものであろう。
20GBSI0003	韓国文化の理解	全て	最近、「韓流」ということばが日本社会において大衆文化のキーワードになっている。本講座では韓国の文化と社会について基礎的な知識をはじめ、多様な韓国文化に対する理解を含めることを目標とする。	隣りの国韓国を身近に感じ、その文化を理解する。
20GBSI0004	World English I	全て	This course will allow students to explore the history and use of the English language in a global context.	Students will gain a broader understanding of the different varieties of the English language spoken throughout the world and be able to communicate better with speakers of various different English dialects.
20GBSI0005	World English II	全て	This course will allow students to explore the history and use of the English language in a global context.	Students will gain a broader understanding of the different varieties of the English language spoken throughout the world and be able to communicate better with speakers of various different English dialects.

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
20GBSI0006	中国文化論	全て	中国文化は古代から隣国日本に少なからず影響を与えてきた。中国は今後も日本の最も密接な関係を有する国である。この講義の目的は豊かな奥深い中国文化の基礎知識を概説することにある。	学生が受講を通じて中国文化のみならず、日本文化との関連についても興味を持ち、今後の生活と仕事に役に立つことを目的とする。
20GBSI0007	国際協力入門	全て	今日、グローバル化が益々進むなか、さまざまな問題も国境を越え多国に影響をおよぼし、それらの解決には国際協力が欠かせない。しかし、一口に国際協力と言っても、さまざまな方法で行われており、多くの人々、団体が係わっている。また、国際協力が行われている分野も、経済、社会、平和構築等と多岐にわたる。本講義においては、国際協力が何故必要なのか、また国際協力はどのように行われているかについての基本的な知識を提供することを目的としている。	①国際協力の方法について概略を理解している。 ②さまざまな国際問題に対して、どのような国際協力が必要なか、どのような協力が行われているかについて自分の言葉で述べることができる。 ③日本がどのように国際協力に関与しているかの一端を理解している。 ④より深く国際協力について学ぼうとする場合、その学習計画を立てるうえで必要な知識を習得している。 ⑤将来、国際協力の分野で活躍したいと考える学生は、希望具体化のさらなる検討に欠かせない国際協力の基本的枠組みを理解している。
20GBSI0008	漢字がつなぐ東アジア	全て	この科目は、漢字・漢字語を中心に東アジアの言語、特に日本語・中国語・韓国語を対象に、それらの間の類似点と相違点、および交渉の跡を知ることにより、東アジアという視野の中で日本語を眺め、理解する視点を養うことを、主な目的としている。	東アジアの漢字・漢字語に関する基本的な知識を獲得し、日本語を東アジアという視野の中で客観的に眺めることができる。中国語、韓国語等を学習する意欲を得る。
20GBSI0009	世界の中の日本人	全て	この科目は、普段あまり意識することのない文化が自己形成や心のしぐみにどのような影響を与えているのか、また文化の中で生きる人間の生き方が、どのように文化や社会を維持・変革しているのかを分析・考察できるようになることを目的とする。	ひとの感じ方や考え方、行動は個人によって差があるのは当然であるが、文化によっても異なっている。文化とひとの心や行動との相互作用に関する理論や研究についての知識を得ることにより、文化と人間について分析・考察できるようになる。また、文化の中で生きている自分自身を見つめ直す機会を得る。

基礎教養科目群 現代トピック科目

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
20GBST0001	わたしたちの大学と地域をまなぶ	全て	私たちの学校と、所在する地域の歴史、景観、文化などを実践的に学ぶことで、学生時代を過ごす地域、社会に生きる市民としての教養、理解を深める。 さまざまな記録や記憶、モノの存在によって、学校や地域の文化、歴史、生活が形成されていることを理解する。 学校や地域に対する誇りや求心力を高めると同時に、その内容を「語れる」ようにする。 「学院歴史ゾーン」形成に向けた基盤を作る。	記録や記憶、モノの存在によって学校や地域の特質や個性が形成されていることを理解する。 私たちが日常生活を送る武庫川女子大学（附属校園含む）について、深い知識と理解を得る。 「西宮」「鳴尾」地域に所在する私たち武庫川女子大学の学生が、地域住民の一員であること、学校の地域における存在意義と関係について理解する。 大学や地域に対する理解を深めて定着させるため、内容を問う「Mukojo検定」（仮称）の問題を作成する。 「歴史ゾーン」の形成に向け、情報やルートなどを作成し、案内とプレゼンテーションを行う。
20GBST0002	Japanese Culture Influence I	全て	This class will help students understand various issues that Japan faces today from the perspective of beliefs, gender and socio-economic status. The class also encourages students to find differences and commonalities within Japanese society and between Japan and their own countries, so that they can be equipped them with broader ways of thinking.	Upon completion of this class: Students will understand the social and cultural issues that exist in Japan. Students will be able to examine Japanese social and cultural issues from a global perspective. Students will understand the differences and commonalities in culture between Japan and other countries. Students will be better equipped to engage in meaningful discussions about their own culture's place in the world.
20GBST0003	Japanese Culture Influence II	全て	This course will help students expand their understanding of various issues that Japan is facing including social and economic issues as well as roles that Japan should take in the global community especially in international cooperation.	Upon completion of this course, students will have a better understanding of Japanese culture, society, economy and what kind of roles that Japan has been playing and is expected to play in the global community, and be better equipped to engage in meaningful discussions about their own culture's place in the world.

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
20GBST0004	モラルジレンマから考える私	全て	日常生活には様々なモラルジレンマがあり、これらは正解がはっきりしないことも多い。社会の中で生活するためには、自分の意見を明確にするとともに、他者との議論を通じて、自分の意見を見つめ直すことも必要となる。本授業ではこのジレンマ過程を実際に経験しながら、自分と異なる意見にも耳を傾ける態度を養い、自分自身について見つめ直すことを目的としている。	①自分と異なる意見や考え方に対して、理解しようと努力できる ②自分の意見を論理的に他者に伝えることができる ③他者のディベートを聞いた後、それぞれの主張を要約できる ④他者の意見と自分の意見の違いなどをふまえて、自己分析ができる
20GBST0005	テレビ映像と現代社会	全て	テレビは、長い間情報伝達の中心的役割を果たしてきた。この授業では、テレビの歴史や今後のインターネット社会でテレビを含むメディア全体がどのように変化していくのかについて考える。さらにテレビ映像について、企画・撮影・編集など多方面から研究する。インターネット社会での映像について私が最も大切に考えていることは、その映像が正しい情報を伝え、かつ表面的ではなく物事の本質を捉えているかという点だ。大災害時のネット映像は信頼できるのか？テレビニュースは本質を捉えた映像を放送しているか？様々な角度からメディアの映像を検証し映像の裏にある物事の本質について考える。学生の皆さんが、この授業でより社会的な視野を広げ、正しい情報と物事の本質を見抜く力を身につけることが目標である。	テレビとインターネットが融合する大きな変化の中で、学生の皆さんがテレビの社会的役割や特性を知った上でネット社会に臨むことは、今後の人生にとって有益である。 ネット上の“情報の洪水”の中から必要な情報を取捨選択し、社会を見つめる視野が今以上に広がることを、そして将来メディアで仕事をしてみたいという学生が出てくれることをこの授業の到達目標と考えている。 具体的な達成目標は以下の通り。 ○わが国が今後の国民に対する情報伝達サービスをどのように考えているのか、メディア全体（テレビとインターネット）の現状と今後の動きを理解できる。 ○過去65年間のテレビ映像が、国内外の歴史にどのような影響を及ぼしてきたかを評価できる。 ○ニュースの重要性と「正確な情報」の大切さを事例と共に認識できる。 ○ニュース・スポーツ・情報番組・ドキュメンタリーなどの映像コンテンツを視聴し、それらがどのようにして制作されているかを理解できる。その上で、映像（動画）撮影、編集、照明の奥深さを感じ取れるようになる。 ○テレビからインターネットへと変化しても、人を傷つけないためには変化してはいけないものもある。表現方法や取材のやり方など、情報を送り出す側のノウハウを具体的に述べることができる。 ○取材をすること・映像（動画）企画を立てることの素晴らしさと難しさを疑似体験し理解できる。
20GBST0006	女性のためのマーケティング	全て	マーケティングとは顧客および市場の創造である。消費財（化粧品・食品・衣服等）の購入決定権の8割は女性が握るといわれ、女性がマーケティングの知識を習得し、消費財の企画・市場調査・広告宣伝・営業などマーケティングの現場で活躍することが期待されている。本科目では、身近な事例にもとづいてマーケティングの基本を習得し、マーケティングへの理解と興味を深めて、将来的にマーケティングに関わる業務で活用できることを目的としている。	・マーケティングとは何かについて、自分の言葉でわかりやすく説明できる。 ・マーケティングの基本概念について、わかりやすく説明できる。 ・身近な商品・サービス事例をSTPにあてはめて、わかりやすく説明できる。 ・身近な商品・サービス事例をマーケティングミックス（4P）にあてはめて、わかりやすく説明できる。 ・マーケティングの応用理論についてキーワードと身近な商品・サービス事例を関係付けられる。 ・マーケティングの基本概念を使って、マーケティングプランを具体的に立案できる。
20GBST0007	大学生活入門	全て	一般に大学生は、活動・行動範囲も飛躍的に広がり、以前より自由な行動を認められるが、一方では自分を律することを求められ、大人としての責任・責務も発生する。この授業では、学生生活を有意義に、また安全かつ快適に過ごし、その後生涯にわたって、社会人として健全な社会生活を送るために、必ず知っておきたい基本的な知識を修得する。〈1年生対象〉	大学生として、またその先の社会人への備えとして自分の健康は自らが守るという認識と自覚をもち、健全な社会生活を送るための健康、食生活習慣、危機管理等に焦点をあて、基本的な考え方と知識を習得する。
20GBST0008	命を守る生体の機構と科学	全て	一人の女性としてまた人間として生きていく上において、備えておくことが望ましい教養を各分野の最先端で研究されている先生方にお話しいただきますので、現代社会において生命を維持し、さらにより快適な人生を送るために必要な知識やそれを支えるための基礎研究がどのように行われているかについて知り、教養として身につけ、自らの人生に応用することを目的とする。	命を守るために人類が本来備わっている生体防御機構とそれをどのように利用しているのか、現代の治療や移植医療の現場において生命科学的知識や手法をどのように駆使しているかを認識し、生命の神秘と命の大切さを認識することを目標とする。

ジェンダー科目群

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
20GGEN0001	女性のための発達心理学	全て	目的の一つは、女性ならではの発達の特徴と課題を中心にしながら、人の生涯にわたる発達の過程を理解していくことである。目的の二つ目は、それらの理解をもとに、自分らしい発達を遂げていくことについて考察し、自分なりの人生を作り出していくことへの見通しをもつことである。	<ul style="list-style-type: none"> 各発達時期の特徴と課題とを述べることができる。 性差について、論理的に思考し、不要な性差観を排除することができる。 自分なりの生き方について考え、意思を表明することができる。 成長し続ける女性としての自分を創りだすことへの意欲と態度を表現できる。
20GGEN0002	セクシュアリティ入門	全て	この科目の目的は、セクシュアリティという概念への着目を通して、性の多様性に関する知識と意識を高め、自分も含めた一人ひとりの違いを尊重できる感覚を培うことである。	<p>この科目の受講終了時には、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①セクシュアリティに関わる基本的な用語を説明できる。 ②セクシュアリティにまつわる歴史的な出来事を具体的に説明できる。 ③セクシュアル・マイノリティとマジョリティの両視点に立つことができる。 ④セクシュアリティと個人のライフイベントの関連について考察できる。 ⑤セクシュアリティに関する社会の動向について自分の考えを述べることができる。
20GGEN0003	女性と家族のゆくえ	全て	現在「女性」を取り巻く状況とそこから生じる問題を、「家族」との関連で考えていく。まず、当たり前前に存在しているかに見える「家族」を、他文化との比較や歴史の中に置くことによって相対化し、とらえ直す作業をおこなう。そして、今後の「女性と家族」の新しい可能性を見出していくことを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> 家族の問題を単体で見るとはならず、他の文化や社会と比較しながら相対的に説明できる。 情報を鵜呑みにするのではなく、その問題が置かれていた社会的状況において考察することができる。 家族の問題を今という状況だけでなく、歴史的な脈のなかで意味づけることができる。 科学的知を、女性の生きていく力に活かすことができる。
20GGEN0004	女性と教育	全て	教育における自らの経験や現状をジェンダーの視点から分析・考察することによって、ジェンダーにとらわれないしつけや教育の可能性について考える力を養う。さらには、将来起こり得る様々な出来事(就職、進学、結婚、出産、育児等)について主体的に考え、行動できる力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> 日々の生活の中でジェンダーを意識し、「当たり前」、「当然」、「自然」とされがちな様々な事象を批判的に捉えられるようになる。 これまでの「とらわれ」から自由になる。 自分の言動が他者と異なっても、それに戸惑うことなく、自信が持てる。同時に他者の言動を尊重できる。
20GGEN0005	ジェンダーとアイデンティティー	全て	「女」を取り巻く環境は時代とともに刻々と変化している。同時に「女」の生き方およびそれに伴って発生する問題も変化している。そうした様々な変化を認識する中で、これまでとらわれてきた自らの女性観や性別役割分業観を問い、自分らしい生き方について主体的に考える力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> 日々の生活の中でジェンダーを意識し、「当たり前」、「当然」、「自然」とされがちな様々な事象を批判的に捉えられるようになる。 これまでの「とらわれ」から自由になる。 自分の言動が他者と異なっても、それに戸惑うことなく、自信が持てる。同時に他者の言動を尊重できる。 さまざまなジェンダー問題に敏感になり、自らの考えを説明できる。
20GGEN0006	女性の身体とセクシュアリティ	全て	この科目は、ジェンダーの理論やセクシュアリティに関する事柄を理解し、自分の身体や性について考察できるようになることを目的としている。	ジェンダーの理論や社会問題、セクシュアリティに関する知識を身につけることで、自分自身の心の中にある固定観念や偏見に気付くことができる。また、女性が抱える問題や女性に多い障害についての正しい知識をもつことで、それらを予防・対処できる力を身につけることができる。
20GGEN0007	メディアに見るジェンダー	全て	この科目は、メディアの中にある具体的な事例を通して、ジェンダーの理論や問題を分析することにより、自分自身の中のジェンダー意識を再考できるようになることを目的とする。	ジェンダーの問題は、漫画や小説やエッセイ、映像などのメディアに顕著に表れていることが多い。メディアの中にあるジェンダーを分析することにより、また、メディアから受けている多大な影響に気付くことにより、「当然」と思っている価値観やイメージについて分析・考察できるようになる。さらに、ディスカッションなどを通し、多様な意見や価値観に触れることで、自身の考えを深めることができるようになることも目的の1つとする。
20GGEN0008	アジアのなかのジェンダー	全て	中国、インド、ベトナムなどアジア諸国の躍進がめざましい。同時に、これらの国々について理解することの重要性が増している。本授業では、これらの国々に関する基礎知識を得た後、教育、労働、結婚の現状および問題についてジェンダーの視点から考察する。	<ul style="list-style-type: none"> アジア諸国をはじめとする世界の国々の社会情勢に関心を持つようになる。特に様々な国々のジェンダーに関する諸事情に関心を持ち、それらの共通点や相違点を知る。 上記の知識をもとに、日本のジェンダーに関する諸事情について考察したり、将来のジェンダー動向を予測できたりするようになる。

キャリアデザイン科目群

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
20GCRD0001	女性のためのライフプランニング	全て	現在、女性をとりまく環境は大きく変化している。このような時代に、自らの夢を実現するために、今何を学び、いかに自らの能力を伸ばすのかを考える。また、キャリアについてどう戦略的に考え行動するか、女性としてどう生きるかを重要なポイントととらえ、有意義なライフプランを考える。	(1) 日本と世界の潮流を理解する。 (2) 社会で活躍できる人材に成長するための大学生生活の過ごし方を理解し実行する。 (3) 社会人として必要な社会人基礎力を理解する。 (4) 女性をとりまく背景、社会状況を理解する。 (5) 自らのキャリアプランとライフプランを形成する。 (6) 理想のライフプラン実現のための課題を見つけ、その課題を解決する能力を身につける。 (7) 自己表現ができるコミュニケーションスキルを身につける。
20GCRD0002	キャリアデザインとライフプラン	全て	キャリアデザインはその言葉の意味からして仕事面が強調されがちである。人生においては確かに重要な要素に違いないが、あくまでもライフデザイン（人生設計）のなかの1つの側面としてとらえたほうが理解しやすい。それ故、向こう50年間の人生について学校・仕事・自己啓発・人間関係・資産・趣味・家族などさまざまな視点から具体的なイメージを膨らませ、そのなかでのキャリアデザインに向けてどのような努力をしていくべきかを明らかにすることを目的とする。	○キャリアデザインの設計にあたって、まずは「自分」を知ることが出発点となる。そのため、次のテーマについて自らを考察し、レポートにまとめて提出する。 ・自分の過去を振り返る ・パーソナリティを知る ・第一印象を知る ・自分の価値観を知る ・いきが、やりがいについて考える ○第2には、キャリアデザインの設計における基本的な考え方や盛り込むべき内容について理解し、さまざまな視点から今後の人生を考えることができるだけの知識や情報をもつ。具体的な項目は次の通り。 ・キャリアデザインとライフプランの基本概念 ・キャリア理論 ・社会人 ・企業化社会など ○社会人として必要とされる能力・スキル（技術）を理解し、解釈することができる。 ・自分の頭で考え、行動する ・社会人基礎力 ・論理的思考力 ・リーダーシップとコミュニケーション ・コンセプチュアルスキル ・タイムマネジメント ・動機付け ・自己革新
20GCRD0003	キャリアと学び	全て	いま、社会や企業が求める力は、主体性やコミュニケーション力やリーダーシップその他じつに多様であるが、そうした諸能力を育み、そのコアとなるのが思考力や継続的学習能力、すなわち「自ら学ぶ力」である。大学を出れば勉強は必要ないと思っている人は、充実した豊かな人生とキャリア発達を実現することはできない。これからの時代、生涯にわたるキャリア形成に求められるのは、将来の人生と仕事に思いを馳せるキャリア意識と成長意欲、そして目の前の課題に真摯に取り組む姿勢と主体的な学習力である。 本授業の目的は、受講生が仕事と学びに関する考察を深めながら、これからはどんな職業に就いても必須といえる、生涯を通じて学び続ける力を獲得することであり、さらに、自ら考え行動する主体性と社会的関心を身につけ、加えて学ぶ楽しさを感じることである。 併せて「社会に貢献できる女性の育成」（武庫川学院教育目標）に資するために、受講生が「高い知性・善美な情操・高雅な徳性」（立学の精神）の涵養を意識し、「主体性・論理性・実行力」（武庫川女子大学教育推進宣言）を具えた「自立した学生」への成長を意識することを目指す。	この授業の到達目標は、受講生が次に述べるようなスキルとマインドを獲得すること。 ①自分で考える力。 ②自分の言葉で話す。 ③自分で行動する力。 ④授業以外でも自分で考える、話す、行動することができる。 ⑤質問と失敗を恐れない。 ⑥継続的学習力および学習習慣の必要性への認識とともにその獲得。 ⑦授業外学習として、本と新聞を読むこと。 ⑧教養の必要性への理解と社会的関心。 ⑨目の前の課題への真摯な取り組みと自己肯定感。 ⑩武庫女の教育理念への共感。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
20GCRD0004	卒業生が語る仕事と人生	全て	<p>学生にとって卒業後に始まる職業世界や社会人生活は未体験ゾーン。したがって不安と期待が錯綜するのは当然のこと。そんな学生たちにとって、社会人として活躍する卒業生に接することは大きな意味をもつ。夢と情熱と誇りをもって真摯に仕事に取り組む先輩の姿は、学生たちに尊敬や憧れの念を喚起し、自らの居場所に対する誇りを抱かせる。</p> <p>それだけにはとどまらない。先輩達からのメッセージに刺激や励ましを受けた学生たちは、自らの今の学生生活を見直し、学習意欲の向上や生活習慣の刷新、さらに自分に不足する能力開発へと、自分自身の成長と自立を強く意識し、そのための行動を起こし始める。その結果、学生たちは自分の可能性と自己効力感への気づきを得る。</p> <p>武庫川女子大学は、立学の精神において「高い知性・善美な情操・高雅な徳性」、加えて教育推進宣言で「自立した学生を社会に送り出す」と謳うが、本科目はその一助となることを目指す。</p>	<p>この授業において、受講生は次のようなスキルとマインドを涵養し習得する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ロールモデルの発見。 ②成長意欲と失敗の積極的受容とチャレンジ精神。 ③主体性と行動力。 ④努力の価値認識。 ⑤キャリア意識の醸成とポジティブ思考。 ⑥自分の居場所への誇りと自己肯定感。 ⑦武庫川女子大学の教育理念の理解。 ⑧将来の夢と目標の醸成。 ⑨学生生活の見直し。 ⑩学習意欲の増進。 ⑪社会的関心。 ⑫読書習慣（本と新聞）。
20GCRD0005	ヒューマンスキル入門	全て	<p>ヒューマンスキル（対人能力）を高めていくためには、自分自身を知ることが大切である。いろいろな自分と出会い、多くの発見を重ねながら、さらに魅力的な自分を創造していくことを目的にする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他者との相互作用を通して、コミュニケーション・スキルが向上する。 ・それによって、他者との関わりに自信をもてるようになる。 ・決まりきった答えのない事柄に取り組んでいくので、考える力が高まる。 ・以上が基軸となるが、そのほかにも感情をコントロールする力、目標設定力、マナー等を身につけていくことができる。
20GCRD0006	パーソナルコミュニケーション	全て	<p>学生のカルチャーから社会人のカルチャーへソフト・ランディングしていくために、必要かつ重要な能力の1つが、コミュニケーション能力である。そして、コミュニケーションのあり方が、人間関係を左右する。豊かな人間関係を築いていくためのコミュニケーションのポイントを身につけることを目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・対面でのコミュニケーション力の向上を目指す。 ・人間関係やコミュニケーションの問題に正解や決まりきった答えはない。そのため、考える力も高めていくことができる。 ・アクティブ・ラーニングによって、主体的に行動する力、リーダーシップ、課題形成力の修得が期待できる。
20GCRD0007	自己アピールトレーニング	全て	<p>就職試験の面接に必要な知識や技能を身につけ、自分自身を最大にプレゼンテーションすることを目標とする。</p>	<p>自分の強みを見つけ、表現できるようになる。</p> <p>他の学生の強みや改善点を見つけ、それを上手く相手に伝えることができるようになる。</p> <p>人前で自分の考えを自信を持って言えるようになる。</p> <p>ニュースや新聞を通じて、社会に目を向けるようになる。</p> <p>清潔感のある身だしなみを身につける。</p> <p>社会人として必要なマナーを身につける。</p>
20GCRD0008	仕事力を考える	全て	<p>社会人として仕事をする能力として、基礎学力およびそれぞれの職業に必要な専門的知識とスキルは当然である。しかしそれ以外に、多様な人々と協働するために、発信力と傾聴力を含むコミュニケーション力、自分で考える力、積極的な行動力、チャレンジ精神、仕事への熱意、リーダーシップ等々が挙げられるように、企業や社会が求める力はじつに多岐にわたる。</p> <p>それらの能力とその意味を考えるとともに、なぜ社会や企業等はそういう能力を必要とするのか、さらにそうした能力を育むには何をすればよいかについて考察する。それによって、企業や役所等が、筆記試験だけでなく、エントリーシート（ES）や面接を重視する理由もおおのずと明らかとなる。</p> <p>この授業では、受講生が、そうした社会人として仕事をする際に求められる能力の必要性への気づきを得、それとともに、それらの仕事力の獲得に向けて行動を起こすことを目指すようになる。</p>	<p>この授業で、受講生は次のようなスキルとマインドを獲得する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①社会から求められる仕事力の全体像と社会人基礎力への理解。 ②自分で考える力、自分の言葉で話す力、積極的な行動力。 ③公共圏における発信力と傾聴力を含むコミュニケーション力。 ④当事者意識を含むリーダーシップの涵養。 ⑤自立した個人同士の協働を可能にする協調性。 ⑥挑戦・失敗・成長への意欲喚起。 ⑦キャリア意識と目の前の課題に真摯に努力する姿勢。 ⑧目標設定力と目的意識の重要性理解。 ⑨消費者マインドから生産者マインドへの意識転換。 ⑩充実したキャリア形成のために必須の自己肯定感と生涯学び続ける力。 <p>具体的な行動指標としては、一人行動、例えば、授業に一人で前方出席。グループディスカッション（GD）への積極的な参加。知らない人の前で自分の考えを話す。コミュニケーションへの入口としての笑顔と挨拶。ダメモト精神と失敗してもめげないチャレンジ精神。本と新聞を読むこと。</p>

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
20GCRD0009	チームで学ぶ課題解決	全て	一般的に企業が採用で重視していること、そして、学生に足りないと感じていることは「主体性」と言われている。この授業では、やるべきことを設定し、プロセスを設計して目標を達成していく、一連の活動を体験的に学習する。そのことによって仕事をしていく上で求められる「主体性」を獲得していくことを目的としている。	<ul style="list-style-type: none"> ・経済産業省の提唱している「社会人基礎力」（職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力）をチーム活動を通して体得する。 ・社会人として仕事をしていく上で求められる、課題解決に必要な論理的思考、協働力などの能力を身につける。 ・こうした能力を提携する企業から提供される課題解決にチームで取り組むことによって獲得していく。
20GCRD0010	キャリアビジョンと人物評価	全て	大学生として、就職活動を展開する際、単に自分の「経験」という直感的理解や勘を介在させて活動していくことは必ずしも望ましい成果をもたらさない。したがって、一般企業であれ、公務員の採用試験であれ人物評価を客観的に理解しておくことが望まれる。そして、人物評価法の正しい認識と採用面接における評価軸を前提として、自らの価値づけを行うことが不可欠となる。この授業では、採用面接を客観的、分析的に理解することで、戦略的な事前準備の方法論を紹介し、良い意味で「印象」を残すための志望動機と自己アピールの「考え方」と実践方法（フレームワークの利用）を様々な事例を通じて学んでいくこととする。	面接対策は、他者の主観に左右される側面があることも事実ではあるが、人物評価法の「考え方」と「事前準備」によって、効果的な準備が可能となることはいうまでもない。この授業では各自が自分の強み（希少性）を生かした自己アピールができるようになることを最大の目標とする。
20GCRD0011	プレゼンテーションの基礎	全て	プレゼンテーションは学生生活や卒業後の仕事において重要なスキルとなる。例えば、授業での口頭発表、ゼミの研究発表、留学その他の活動報告、就活での自己PR、社会人に求められる仕事上の企画や報告の発表など、自分の意見や主張を人前で発表する機会が多い。そのため、この科目では、学生がプレゼンテーションとは何かを理解し、限られた時間で伝えたいことを伝えたい相手に、最適な手段を用いて伝えることができ、論理的思考力と聴き手を納得させる能力を獲得することを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の活用法が身につけることができる。 ・目的に応じて、効果的なプレゼンテーションのための企画書を作成することができる。 ・聴き手を意識した独創性と説得力の有るプレゼンテーションが行える。 ・文章や発表を通して、批評力が身につけることができる。
20GCRD0012	文章表現の基礎	全て	文章表現力は学生生活や卒業後の仕事と人生において必須のスキルである。例えば、授業中のコメントシート、レポートや卒論の作成だけでなく、留学その他の志望理由書や就活のエントリーシート、社会人に求められる仕事上の企画書や報告書の作成、そして日常的にやりとりするメール文など、自分の考えを文章にまとめて表現する場面は多い。「伝える」と「伝わる」は違うが、自分の考えを読み手に分かるように書いたり話したりすることは、実際は非常に難しい。この科目では、論理的思考力とコミュニケーション力の基礎となる文章を読み解く力と自分の考えを言語化する力が身に付けられる。併せて自分を表現することを通して、自分の価値観を知り、学ぶ楽しさと自分の成長を実感することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な文章を読解することができる。 ・「情報収集→情報分析→課題発見→構想→表現」という問題解決のプロセスに即した文章作成の方法が身につけることができる。 ・資料や情報をもとに、自分の主張を論理的に述べるレポート作成のスキルが身につけることができる。 ・自己を「ふりかえる」力が身につけることができる。
20GCRD0013	日本語表現の基礎	全て	文章を的確に読み、取得した情報に対して「論理的に」考え、それを伝えるという、高等教育として必須の力を養成する。	文章の構成を根底から理解し、それをもとに自分の主張を論理的に文章で発信することができる。具体的には課題文章を100～200字程度に短時間で要約することや、自身の考えを200字程度で論述することができる。
20GCRD0014	企業の見方	全て	社会における企業の役割や多様性ととともに、その存在意義や様々な活動について考え、併せて、将来の進路選択や職業選択の際の参考材料を蓄える。また、様々な企業事例を見ながら、優良な企業や組織とはどのような条件を備えているかについて考察し、そのことによって、企業や業界を一般的なイメージとして捉えるだけではなく、個々の企業を具体的に観察する眼を養う。他方、学生自身の問題として、消費者としての目線から、生産者もしくはサービス提供者としての目線を獲得することを目指す。あるいは、これまで消費者であり学生として生きてきた者から生産者であり働く社会人となる者へのマインド転換を理解する。このマインド転換がなければ、十分な企業理解が得られないことから、学生側の意識変容も重視する。	<p>この授業の受講生は次のような知識、スキル、マインドを獲得する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①企業に関する様々な情報や知識。 ②BtoB企業および中小企業に対する理解。 ③個々の企業の具体的な見方。 ④自分から企業等を調べる態度。 ⑤就活と就業に対する前向きな姿勢。 ⑥主体的に就活を楽しむ逞しいマインド。 ⑦自分自身の将来における夢や目標の発見またはその重要性の理解。 ⑧目の前の課題に真摯に取り組む姿勢。 ⑨自立と社会的関心。 ⑩自分で考える力、自分の言葉で話す力、行動力。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
20GCRD0015	企業での女性活躍と働き方改革	全て	1億総活躍社会の実現に向け、企業での女性活躍が、今まで以上に求められており、企業での女性活躍と働き方改革の内容を理解する。	(1) 社会人として活躍する為に必要な企業に関する基礎知識を学び、自主的に企業研究が、できる。 (2) 企業の中での女性活躍・働き易さ、働き方改革等の企業の動向を知り、将来の働き方を自分で決められる。 (3) 主体的なキャリアデザインを考える事ができる。
20GCRD0016	企業で役に立つ情報収集と企画力	全て	企業でのマーケティング部門（企画部門）等で活躍する為にマーケティング力、新事業企画・新商品企画の流れを理解するとともにデータ分析力やプレゼンテーション力の基礎を身につける。	1、企業でのマーケティング活動、事業企画、新商品企画の進め方について講義およびグループワークを通じて具体的な企画ができる。 2、基本的なデータ分析の手法を理解し、活用できる。 3、効果的なプレゼンテーション資料の作成と力プレゼンテーションができる。
20GCRD0017	グローバル化と企業の海外展開	全て	業種や規模に関わらず、どのような企業でも、輸出入・海外販売・海外生産・インバウンド需要の対応等で海外との係わり合いは、今後益々拡大していく。そのような状況の中で、変化の激しい世界の経済動向・企業の動向などを理解しつつ、グローバル力を高めることによりキャリア形成・就職活動に役立たせる。	1、グローバル力（戦略的思考力&異文化の理解等）の内容を理解しグローバル力を強化する行動ができる。 2、企業の海外展開の新たな潮流および動向を学び、成功のポイントを理解し自主的に企業研究ができる。 3、学生の就職活動または就職後に必要な海外関連知識を学び、活用できる。

言語・情報科目群（言語リテラシー科目）

1. 英語

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
20GLIL0101	英語コミュニケーションⅠ	全て	英語で話すことに慣れていない学生が、英語を用いて、積極的にコミュニケーションを図る態度を身につけ、身近な話題について会話する基礎的な力を培うことを目的とする。本授業は外国人講師が担当し、授業はすべて英語で行う。	挨拶、自己紹介などを英語で行うことができる。 身近な話題であれば、会話の内容を大枠で聞き取ることができる。 基礎的なやさしい表現を用い、身近な話題について英語で話すことができる。
20GLIL0201	英語コミュニケーションⅡ	全て	英会話学習に関心があり、基礎的な英語力がある学生が、日常の身近な話題や、物事について、よりスムーズに会話の「キャッチボール」を楽しむ力を身につけることを目的とする。また、会話に必要な文法事項の復習や、語彙力の強化も同時に行う。本授業は外国人講師が担当し、授業はすべて英語で行う。	休日の過ごし方、買い物、旅行など、日常想定できる場面で、自分の意見を的確に伝えることができる。 馴染みのない話題でも、質問を繰り返すなどして、大枠で理解できる。 複文を用いることができる。
20GLIL0301	英語コミュニケーションⅢ	全て	Everyday something new is being made, being discussed, being explored. In this pre-intermediate course, students can enjoy sharing together about society issues and expanding their knowledge about current issues in Japan and internationally. Students will practice their skills of critical thinking, listening, reading, writing and speaking as they express their opinions clearly in class and through homework.	Students can enjoy developing their English skills as they think and talk about current topics. The goal of this course is to increase the students' knowledge of English skills by expressing ideas and asking questions as they study various topics affecting Asian societies. Specifically, students will use their English skills of reading, writing and conversation as they increase their knowledge of English communication and international culture.
20GLIL0401	英語コミュニケーションⅣ	全て	This course is designed to develop students' overall communicative abilities through integrated practice of the 4 skills (listening, speaking, reading, and writing), and vocabulary. Students will be encouraged to develop critical thinking skills while discussing current issues happening both in Japan and internationally. The course also aims to develop an understanding of intermediate to advanced English structures, expressions, and vocabulary. An intermediate to advanced level of English comprehension is required to take this course.	This course has the following goals: 1. To extend students' knowledge of local and global issues. 2. To develop critical thinking skills. 3. To develop the ability to use a wide range of advanced English structures, expressions, and vocabulary.
20GLIL0102	英語リーディングⅠ	全て	初級レベルの学生がパラグラフの構造や読み方のコツを知り、効率的、かつ確実に英文の内容を理解できるようになることを目的とする。様々な英文を読み、文のパターンを理解し、英文の論理的な読み方を学ぶ。文法事項や表現を復習するとともに、語彙力も培う。	<ul style="list-style-type: none"> パラグラフの構造を知る。 平易な英文を理解するための文法知識を獲得する。 積極的に英文を読む態度を身につける。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
20GLIL0202	英語リーディングⅡ	全て	様々な話題・形式の英文を読み、長文を理解するトレーニングを行う。パラグラフの要点を読み取る方法（スキミング）を学び、必要な情報を収集する力（スキヤニング）を身につける。専門分野の英語文献を理解するための素地を培うことを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて精読、速読など適切な読み方ができる。 まとまりのある英文を読んで、必要な情報を得ることができる。 読んだ英文の内容を聞き手にわかるように音読することができる。
20GLIL0103	英語ライティングⅠ	全て	メールやLINEメッセージなどの日常的なライティングをはじめ、ネット利用の際に発生する「書く」やりとりにも活用できる語彙やフレーズを、「英作文」の練習を繰り返すことで習得し、短いセンテンスを用い、自分の意見を伝えることができるライティングの基礎力を身につけることを目的とする。	英文ライティングに応用できる「書く」ための文法力を習得する。日常のやりとりに役立つレベルの「語彙」力を習得する。学んだ定型文を用い自分の意見を「書いて」伝えることができる。
20GLIL0203	英語ライティングⅡ	全て	エッセイやニュース記事など多種多様なジャンルの英文を読みながら、使用語彙・表現・パラグラフの成り立ちなどを学び、自分の意見・提案・説明など様々な状況に応じ、論理的な英文を書くために必要な文章構成力を身につけることを目的とする。	音声言語・文字言語の違いを語彙レベルで確認し、より自然な英文を書く力を身につける。論理的な文章構成力を身につける。辞書やオンライン資料、参考文献等の有効的な使い方を知る。文章で用いるコンマ等、記号を正しく用いることができる。
20GLIL0104	TOEIC演習Ⅰ	全て	ビジネス、学業を問わず、あらゆる場面で、英語力が必要とされる時代に、TOEICのスコアは実力を示す指標の一つとして幅広く利用されている。本授業は、TOEIC未受験者を含め、初級レベルの学生が、各設問形式に慣れることを目的とする。	TOEIC450点程度の能力を身につける。比較的短い英文であればまとまりで音聞き取ることができる。平易な英文であれば日本語を介さず理解することができる。
20GLIL0204	TOEIC演習Ⅱ	全て	ビジネス、学業を問わず、あらゆる場面で、英語力が必要とされる時代に、TOEICのスコアは実力を示す指標の一つとして幅広く利用されている。本授業は、基礎的な英語力があり、TOEICの試験形式にある程度慣れている学生が、多くの模擬問題にふれることで、さらなるスコアアップを目指すことを目的とする。	TOEIC600点程度の能力を身につける。文単位ではなく、パッセージ全体を通し、大枠の意味を聞き取ることができる。頻出語彙を習得することで効率的に英文を読み取ることができる。
20GLIL0302	TOEIC演習Ⅲ	全て	ビジネス、学業を問わず、あらゆる場面で、英語力が必要とされる時代に、TOEICのスコアは、実力を示す指標の一つとして幅広く利用されている。本授業では、上級レベルを目指す学生が、難易度が高い問題に数多く取り組むことにより、一層のスコアアップを図ることを目的とする。	TOEIC700点程度の能力を身につける。そのために必要なスキルとして、「英語を英語のまま理解する」力や大量の情報の中から必要な情報を素早く読み取るスキヤニング力などを身につける。
20GLIL0402	TOEFL演習	全て	TOEFLは、非英語母語話者のアカデミックな英語運用力を測定するテストである。本授業では、大学・大学院留学を目指している、あるいは、よりアカデミックな内容の英語を学びたい学生が、TOEFLの問題形式に慣れ、目標点数取得に必要な語彙力・リスニング力・リーディング力を獲得することを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> アカデミックな領域をカバーする語彙力を獲得する。 長文理解のために必要な文法知識を身につける。 制限時間内に問題を解くための適切な時間配分ができる。
20GLIL0105	TOEIC（初級）	全て	英語力を必要とする企業が増え、就職活動時に学生にスコアを求める企業も増加している。TOEICは、身近な事柄からビジネスに関連する事項まで、幅広いコミュニケーション能力を測る目的で作られているが、具体的なビジネスシーンなど学生には馴染みの薄い場面も多く含まれる。本授業では試験の形式に慣れ、英語力の向上と共に効率よくスコアアップをはかることを目的とする。	<p>TOEICスコア500点程度を目指す。</p> <p>リスニング到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 音法（音声変化や音のしくみ）を理解する。 1度に数行単位の英文を聞き取り意味を把握する。 <p>リーディング到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 文の内容を理解するにあたり最も大切である名詞と動詞に加えて、詳細説明に使われる形容詞や副詞の理解も目指す。 TOEIC特有の場面設定に慣れ、語彙や表現を増やす。

2. ドイツ語

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
20GLIL0106	ドイツ語Ⅰ	全て	学生がドイツ語の骨組みを理解できるようになることを目的とする。テキストをもとに、「聞く・話す・読む・書く」の技能全体をバランスよく学習する。また対話練習によってコミュニケーション能力を身につける。学生が、ドイツ語圏の文化的背景を具体的に理解できるよう視聴覚教材を使用する。文法面では、全体の見直し（テキスト最終項目まで）を第一とし、細部はⅡにゆだねる。	学生がこの授業を通じて、ドイツ語テキストの理解やコミュニケーションの際に必要な知識を獲得するのが到達目標である。客観的な指標としては、ドイツ語検定試験5級に合格可能な能力を身につけることである。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
20GLIL0107	ドイツ語 I	全て	ドイツ語の骨組みを修得する。テキストをもとに、「聞く・話す・読む・書く」の技能全体をバランスよく学習する。テープ・ビデオなどを利用し、口頭練習でコミュニケーション能力を身につけ、文化的背景も理解する。受講生の積極的参加を前提とする。文法面では、全体の見通し（テキスト最終項目まで）を第一とし、細部はIIにゆだねる。	異文化に関する知識の理解とドイツ語基礎文法の習得。 ドイツ語検定5級に合格可能な能力に達するのが目標である。
20GLIL0108	ドイツ語 I	全て	「聞く・話す・読む・書く」の4技能をバランスよく組み合わせながらドイツ語の基礎を学ぶ。 読解力だけでなく、発話や会話練習の機会を増やすことを通して実践的なドイツ語力を身につけることを目指す。	ドイツへの旅行や留学などで出会うさまざまな基本表現を学び、ドイツ語検定5級に対応できるドイツ語力の習得を目標とする。
20GLIL0205	ドイツ語 II	全て	ドイツ語Iで習得した骨組みに肉付けをほどこす（Iで省いた文法知識を補うとともに、単語面でも充実をはかる）。4技能のバランスをとること、テープ・ビデオの利用などはIと変わらないが、担当者によって、独自の方向性が生まれる（旅行目的・料理関係・ファッションへの関心など）。	異文化に関する知識の理解とドイツ語中級文法の習得。 ドイツ語検定4級受験可能な能力に達するのが目標である。

3. フランス語

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
20GLIL0109	フランス語 I	全て	初めてフランス語に触れる学生が、フランス語の基本的な構造を理解することを目的とする。テキストをもとに、「読む・書く・聞く・話す」の4つの技能全般をバランスよく学習する。また、テキストとは別にフランスのさまざまな風俗、習慣、文化等の最新情報を映像で紹介していく。この授業を通して学生がさまざまな表情を持ったフランスを発見し、フランスへの関心がさらに増すことを期待している。細部についてはIIにゆだねる。	学生がフランス語で簡単な挨拶、自己紹介ができるようになることを目標とする。また同時に、学生がフランス語検定5級を受験可能な文法力を身につけることを目標とする。
20GLIL0110	フランス語 I	全て	初級文法および日常生活に必要な様々な表現を学びながら、「聞く」「読む」「話す」力を培い、簡単なフランス語でのコミュニケーションを可能にすることを目的とする。またフランス語という言葉の学ばる事を通して、フランスの文化や風土への理解・関心を深める。	①基礎的なフランス語の文法事項が理解できる。 ②実用フランス語5級レベルの簡単で実用的なフランス語を話す事ができる。
20GLIL0206	フランス語 II	全て	Iで修得したフランス語の基本の発展を目的とする。Iで説明しきれなかった文法知識を補うとともに、単語面でも充実をはかることを目的とする。テキストをもとに、「読む・書く・聞く・話す」の4つの技能全般をバランスよく学習する。また、テキストとは別にフランスのさまざまな風俗、習慣、文化等の最新情報を映像で紹介していく。この授業を通して学生がさまざまな表情を持ったフランスを発見し、フランスへの関心がさらに増すことを期待している。	学生がフランス語での挨拶、自己紹介だけでなく、簡単な会話ができるようになることを目標とする。次に、学生が絵本など簡単なものであれば原書で読めるようになることを目標とする。最終的に、学生がフランス語検定4級を受験可能な文法力を身につけることを目標とする。
20GLIL0111	フランス語 I A	全て	初級文法および日常生活に必要な様々な表現を学びながら、「聞く」「読む」「話す」力を培い、簡単なフランス語でのコミュニケーションを可能にすることを目的とする。またフランス語という言葉の学ばる事を通して、フランスの文化や風土への理解・関心を深める。	①基礎的なフランス語の文法事項が理解できる。 ②実用フランス語5級レベルの簡単で実用的なフランス語を話す事ができる。
20GLIL0112	フランス語 I B	全て	初級文法および日常生活に必要な様々な表現を学びながら、「聞く」「読む」「話す」力を培い、簡単なフランス語でのコミュニケーションを可能にすることを目的とする。またフランス語という言葉の学ばる事を通して、フランスの文化や風土への理解・関心を深める。	①基礎的なフランス語の文法事項が理解できる。 ②実用フランス語5級レベルの簡単で実用的なフランス語を話す事ができる。

4. 中国語

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
20GLIL0113	中国語 I	全て	初級レベルの中国語を習得する。 発音、基礎文型を学び、「読む・聞く・書く・話す」の総合的な中国語力を身につけ、実際に中国語を使って基礎的な会話ができることを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、自己紹介などを中国語で行うことができる。 ・基礎的な中国語表現を使って、日常の対話ができる。 ・中国語検定試験準4級・4級、HSK（漢語水平考試）3級を受験できる。
20GLIL0207	中国語 II	全て	準中級レベルの中国語を習得する。 基礎的な中国語力のある学生が、日常より多くの場面で中国語を使って会話できる力を身につけることを目的とする。会話に必要な語彙およびより高度な表現を学習する。	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活、買い物、食事や旅行など想定できる様々な場面で、自分の意見や要望を的確に伝えることができる。 ・平易な文章、物語を読解できる。 ・中国語検定試験4級・3級、HSK（漢語水平考試）4級を受験できる。

5. イタリア語

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
20GLIL0114	イタリア語 I A	全て	学生は授業を通じて次の5点を目指す。 1. 学生はイタリア語の骨組を修得する。 2. テキストをもとに、「聞く・話す・読む・書く」の技能全般の初歩をマスターする。 3. 文法では、全体の見通し（テキスト最終項目まで）を第一とする。 4. イタリアの生活文化に触れる。 5. グローバルな視点で活躍するためのリテラシーと基礎知識を修得する。	学生は授業を通じて次の3つの目標の到達に取り組む。 1. 学生は初級ではイタリア語特有の発音や、活用と語尾変化の基礎などをしっかり押さえた上で、簡単な日常会話の発話練習を行い、基本的な表現ができるようになる。 2. 「イタリア語 I A」を履修、修了して、基礎力が定着したと認められる学生は「イタリア語 I B」（ネイティブ講師指導）でさらなる語学力アップに挑戦できる。 3. 「イタリア語 I A」、「イタリア語 I B」を合わせて確実に履修すれば、イタリア語検定5級レベル程度の語学力を獲得できる。
20GLIL0115	イタリア語 I B	全て	学生は授業を通じて次の点を目指す。 ・学生は初歩的なイタリア語を学ぶ。 ・「聞く・話す・読む・書く」の技能全般の初歩をバランスよく学習する。 ・簡単な日常会話、自己紹介、旅行会話ができるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイを設定したコミュニケーションの表現を通して、主体的にイタリア語での会話ができるように導く反復練習を行う。 ・イタリアの文化に触れ、理解を深め、将来の留学・研修にも役立つ実践的基礎力を培う。 ・イタリア語 I A、イタリア語 I Bを合わせて履修すれば、イタリア語検定5級レベル程度の語学力を獲得できることを目標とする。

6. スペイン語

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
20GLIL0116	スペイン語 I	全て	スペイン語を初めて学習するものを対象とする。まず学生はスペイン語文法の基礎を身につけ、これを用いて平易な文章を理解し、さらにスペイン語による日常会話の習得を目的とする。 授業では、スペイン語圏の国々の歴史や文化的背景といったトピックなども適宜取り上げ、学生が語学の外へも興味を広げていくことを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・スペイン語の基本文法の確認問題や発話練習を通じて、日常的に使われる表現を習得する。 ・スペイン語で挨拶や自己紹介ができる。 ・身近な話題について尋ねたり答えたりといった、基本的な表現ができる。 ・文法としては、直説法現在形までを扱う。（目安として、スペイン語検定6級程度の力を身につける）

7. ハングル

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
20GLIL0117	ハ ン グ ル I	全て	韓国語の基礎を学ぶ。コミュニケーション能力を身につけ、社会文化的背景を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. ハングルが書け、音読できる。 2. 自己紹介ができる。 3. 決まり文句・挨拶表現が話せる。 4. 簡単な日常表現が話せる。 5. 数字を聞き取り、買い物ができる。 6. 基本文型を使った短い文が書ける。 7. 「ハングル能力検定試験」5級以上の能力に達する。
20GLIL0118	ハ ン グ ル I	全て	韓国語の基礎を習得する。 教科書に紹介されている内容を中心に、韓国の文化についても学ぶ。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 韓国旅行をしたり、韓国人の友達を作ったりできる最低限の韓国語を身につける。 2. 韓国語の習得を通じて、人間関係を結べるコミュニケーション能力をつける。 3. TOPIK I（1級～2級）に対応できる語彙力・読解力・聴解力を身につける。
20GLIL0208	ハ ン グ ル II	全て	韓国語での意思疎通に必要な中級の語尾や語彙を習得する。 韓国語での情報発信能力と聴解能力をつける。 合わせて韓国や日本の文化的な内容も学ぶ。 講師は日本語母語話者であるが、原則として授業は韓国語で行われる（板書や文法説明は日本語）。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 韓国人と円滑なコミュニケーションを取れる韓国語を身につける。 2. 韓国語の習得を通じて、人間関係を結べるコミュニケーション能力をつける。 3. 韓国文化についても学ぶ。 4. 日本の文化や、関西の名所などを韓国語で紹介する練習も行う。 5. TOPIK（韓国語能力検定）2級から3級程度の合格を目指す。

8. 手話

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
20GLIL0501	手 話	全て	国内で使用される言語の一形態として、手話言語を学ぶとともに聴覚障害者のことを知り、手話言語で簡単な会話ができるようになる。	挨拶や自己紹介、趣味や好きなことなどを手話言語で会話ができる。

9. 国際センター主催 語学留学プログラム

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
20GLIL0601	特別 英語 演習 I	全て	学生が英語を母語とする社会において英語によるコミュニケーション力をつけることを目的とする。	学生が、英語学習や異文化経験を通して欧米の文化・歴史・習慣を調べ、同時に自国の文化と比較することができる。
20GLIL0602	特別 英語 演習 II	全て	学生が英語を母語とする社会において英語によるコミュニケーション力をつけることを目的とする。	学生が、英語学習や異文化経験を通して欧米の文化・歴史・習慣を調べ、同時に自国の文化と比較することができる。
20GLIL0603	特別 中国語 演習 I	全て	学生が中国語を母語とする社会において中国語によるコミュニケーション力をつけることを目的とする。	学生が、言語習得を通して、中国（台湾）の文化、歴史、生活を知り、同時に自国の文化等と比較することができる。
20GLIL0604	特別 中国語 演習 II	全て	学生が中国語を母語とする社会において中国語によるコミュニケーション力をつけることを目的とする。	学生が、言語習得を通して、中国（台湾）の文化、歴史、生活を知り、同時に自国の文化等と比較することができる。
20GLIL0605	特別 ハングル 演習 I	全て	学生が、韓国社会において生きた韓国語を学び、文化体験を通してその言語や文化を理解できるようになることを目的とする。	学生が、韓国社会で実践的に韓国語を学び、文化を実体験する。 学生が、韓国滞在中、韓国人の人々の考え方・感じ方について考察し、東アジアにおける日本文化の位置づけを再認識できるようになる。
20GLIL0606	特別 ハングル 演習 II	全て	学生が、韓国社会において生きた韓国語を学び、文化体験を通してその言語や文化を理解できるようになることを目的とする。	学生が、韓国社会で実践的に韓国語を学び、文化を実体験する。 学生が、韓国滞在中、韓国人の人々の考え方・感じ方について考察し、東アジアにおける日本文化の位置づけを再認識できるようになる。

言語・情報科目群（情報リテラシー科目）

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
20GLII0001	Accessデータベース基礎	全て	データベースソフト、Microsoft Accessの操作方法と活用方法およびタッチタイプを修得する。	<ul style="list-style-type: none"> Microsoft Accessの基本的な操作ができるようになることを目標とする。 基本的なデータベースの概念が理解できることを目標とする。 キーボードを見なくても正しい運指でタッチタイプができるようになることを目標とする。
20GLII0002	データサイエンス入門	全て	情報化社会の進展により、私たちの暮らしの中には多くのデータが溢れている。そのデータを適切な方法で分析し、価値のある情報を見出していくためには、統計学の知識が必要となる。本講義では、データに基づいて課題解決を行っていくデータサイエンスの入門編として、人文科学、社会科学、自然科学、いずれの分野においても重要となる統計学の基本的な考え方や統計解析の手法を演習形式で習得することを目的とする。	<ol style="list-style-type: none"> ①データを4つの尺度水準に正しく分類できる。 ②データを度数分布表に集計し、データの種類や目的に応じてグラフで表現できる。 ③2変数間の関係を把握するために、クロス表や散布図を作成し、関連性について説明ができる。 ④実際に行われたアンケート調査データについて分析を行い、その分析結果をWordやPowerPointを使って表現することができる。
20GLII0003	データサイエンス演習	全て	ビッグデータ時代の到来により、多種多量なデータを活用する能力が必要になっている。本講義では、記述統計学の知識を基にして、推測統計学や多変量解析の基礎を学ぶ。また、地域の企業と連携し、実際に扱われているデータセットを分析することで、より実践的に課題を解決する能力を身につけることを目的とする。	<ol style="list-style-type: none"> ①母集団と標本集団の関係を理解し、分析するデータの種類やデータの分布を把握することができる。 ②仮説検定の方法を正しく選択することができる。 ③統計解析ソフトウェアを利用し、目的に応じた多変量解析を行うことができる。PowerPointを使って分析結果を分かりやすく表現することができる。
20GLII0004	情報社会を生きる技術	全て	パソコンやスマートフォンでインターネットを利用する上での情報セキュリティについて学習する。	<ul style="list-style-type: none"> インターネットを安全に使用できるようになること。 インターネットの光と影の部分を認識できるようになること。 自らが使用するパソコンやスマートフォンの情報セキュリティに関する設定ができるようになること。
20GLII0005	Webデザイン基礎	全て	情報社会では、多くの情報が電子化され情報の蓄積・検索・発信が容易に行われるようになった。ホームページ（Webページ）はその典型であるが、この科目では、ホームページの作成に利用されるHTML言語の基礎を学び、ホームページの仕組みを理解することが目的である。さらに、HTML言語を用いて、オリジナルのホームページが作成できるようになることが、この科目の目的となる。	<ul style="list-style-type: none"> ホームページ作成に利用するプログラミング言語HTMLの特徴を説明できる。 HTMLの命令（タグ）について、一連の基礎的なタグの意味を説明できる。 ホームページ作成の際、使いやすさ、見易さという観点から、タグを活用できる。 最終目標として、オリジナルのホームページを作成できるようになる。
20GLII0006	Webデザイン応用	全て	基礎科目「Webデザイン基礎」の応用科目である。Web制作の基礎知識を土台にして、CSSを利用した実践的なWebサイトの制作技術を学ぶ。Webサイト制作の実習を行い、サイトコンセプトに応じたWebページを効率よく構築する技法を学習する。これにより今日のWebサイトの仕組みを理解し、仕様に応じたWebサイトを構築する手法を習得する。	<p>Webサイトを効率よく制作できるようになる。</p> <p>ユーザビリティと保守性を考慮した、CSSを活用したWebサイトを制作できるようになる。</p> <p>JavaScriptを用いたインタラクティブな機能を、Webサイトに組み入れられるようになる。</p> <p>パソコンとサーバーの役割の違いを知り、サーバー上でWebサイトを公開する仕組みが理解できるようになる。</p>
20GLII0007	Scratchによるプログラミング	全て	プログラミングを学習することにより論理的思考ができるようになり、問題解決能力を高めることを目標とする。	<ul style="list-style-type: none"> プログラミングの概念を理解する。 論理的な思考ができるようになる。 問題解決能力を高める。
20GLII0008	グラフィックデザイン基礎	全て	自身の持つ情報を、より直感的にわかりやすく視覚的に表現する力が、これからのプレゼンテーションやコミュニケーションにおいて求められている。DTPなどグラフィックデザイン分野で、必要不可欠な技術となったコンピュータによるデザイン描画について、その基礎技法を習得する。DTP業界でデファクトスタンダードであるAdobe Systems社のIllustratorを用いた作品制作を実習し、その基礎制作手法を習得する。	<p>イラスト、ロゴマーク、図面などの描画や、それを用いた広告物、ポスター、パッケージ、出版物、ノベルティグッズなどの制作では、グラフィック制作ソフトが利用される。その代表的なソフトであるIllustratorを用いて、印刷物やWeb素材が制作できるようになる。</p> <p>基本的な操作方法からオリジナル作品制作まで実習し、視覚的な表現力や情報発信力を向上させる。</p> <p>あわせてグラフィックデータの基礎知識（色モード、ベクターデータなど）が理解できるようになる。</p>

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
20GLII0009	フォトタッチ基礎	全て	写真撮影が身近になり、容易に写真による伝達が可能になった。写真を編集し、自身が伝えたいイメージをよりわかりやすく表現する力が、これからのプレゼンテーションでの差別化に求められている。 写真表現において、必要不可欠な技術となったコンピュータによるフォトタッチについて、その基礎技法を習得する。写真業界でデファクトスタンダードであるAdobe Systems社のPhotoshopを用いた作品制作を実習し、その基礎制作手法を習得する。	画像加工、印刷、イラストレーションなどの分野では、写真編集ソフトが利用される。その代表的なソフトであるPhotoshopを用いて、描画と補正・色調整・写真合成などの制作技法を習得する。 基本的な操作方法からオリジナル作品制作まで実習し、視覚的な表現力や情報発信力を向上させる。 あわせてラスター画像の基礎知識（解像度、階調、圧縮画像形式など）が理解できるようになる。

健康・スポーツ科目群（健康・スポーツ科学科目）

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
20GHSS0001	スポーツと栄養	全て	スポーツ選手における体力の維持、競技成績向上のために、トレーニングとともに適切な食事が重要である。そのために必要な基礎的栄養学知識を身につけ、競技スポーツ、健康の維持・増進のためのスポーツにおける食事に関しても理解を深める。知識の習得と共に、指導の場での応用方法や必要となるスキルを会得する。	五大栄養素のスポーツにおける役割を理解し、それぞれを応用して競技力向上のための活用方法および具体例まで挙げられるようにし、スポーツをする人を対象とした指導媒体を作成できる程度の知識を習得する。
20GHSS0002	障害者とスポーツ	全て	障がい者の親しんでいるスポーツ・レクリエーションの現状を理解し、身近な障がい者へのスポーツ活動の支援に役立てることを目的とする。	障がいについての基本的な知識を身につけることができる。 障がい者のスポーツの捉え方、歴史、組織、競技・種目、ルール等を理解することができる。 障がい者の生活、障がい者のスポーツ活動を通して、社会のあり方について考えることができる。
20GHSS0003	知っておきたい救急処置	全て	病気やけが、緊急時のけが人や急病人に対して必要な救助や手当の方法について正しく知り、実践できることを目的とする。	1. 緊急時の対処方法を知り、基本的な応急手当ての知識を習得できる。 2. 一次救命の正しい方法を知り、基本的な対処と処置ができる。
20GHSS0004	ダンス・ムーブメントセラピー	全て	ダンス・ムーブメントをセラピーの視点からとらえ、それらの手法を今後の各自の心とからだの健康づくりーヘルスプロモーションーに役立てる。	1. 安心して学習できる「パーソンセンタード」の環境づくりを学ぶ。 2. からだを通じた自己探求を試みる。 3. ダンス・ムーブメントが持つヒーリングの側面を体験する。 4. グループワークの方法を学ぶ。
20GHSS0005	女性の健康と運動	全て	現代社会では、科学技術の発展や車社会の発達により身体を動かすことが極端に少なくなり、運動不足による弊害も叫ばれている。特に将来、母体と成り得る女性が健康的に美しくなることは非常に大切なことである。今回の授業ではスポーツ科学に基づき女性の健康美を追求していく。	1) 過去から現代まで、女性が何を目的として運動を行ってきたかを理解する。 2) 体力の基本概念を理解し、女性と男性の体力の違いを明らかにする。 3) 女性と男性の体型の違いを理解し、加齢に伴う体型の変化や、時代による体型の違いを明らかにする。 4) 肥満の判定基準を理解し、肥満改善の為の運動の方法を学習する。 5) 痩せの判定基準を理解し、若い女性にとって痩せ過ぎが如何に怖いことであるかを学習する。 6) 更年期障害とは何かについて学習し、更年期障害の対処方を学ぶ。 7) 骨粗鬆症とは何かについて学習し、骨粗鬆症の予防法を学ぶ。 8) 運動処方とは何かを学習し、安全に目的にあった運動処方を立案できるようにする。
20GHSS0006	スポーツの楽しみ方	全て	スポーツには、「する」「見る」「支える」の視点で参加することができる。この授業では技術や戦術、チームビルディング、サポートスタッフの役割等について学ぶ。フェアプレイの精神やチームワークの大切さにも触れ、スポーツの価値を再認識することを目的とする。	自分なりのスポーツの楽しみ方を発見する。 スポーツを生活の一部とする術を獲得する。 スポーツを通して社会生活に必要な態度を身につける。

健康・スポーツ科目群（スポーツ実技科目）

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
20GHSE0001	スポーツ実技（テニス）	全て	テニスは生涯スポーツであり何歳になっても楽しめるスポーツである。授業では基本技術の習得、ゲームのルールやテニスのマナーを学び応用技術を実習しゲームができるように学習する。できる喜びを感じる。	テニスの基本技術と応用技術とルールを学び試合ができることを目標とする。テニスの楽しさを学ぶ。
20GHSE0002	スポーツ実技（ゴルフ）	全て	ゴルフスイングの練習を通して身体を動かす楽しみや充実感を味わうことが主な目的。	ゴルフスイングを正しく習得すること。ゴルフの競技特性を理解すること。生涯スポーツであるゴルフを自立的に楽しめるようになることを目標とする。
20GHSE0003	スポーツ実技（バレーボール）	全て	バレーボールの楽しさは、一つのボールをつなぎ・ラリーを行うことにある。本授業では、基本技術の習得やルールおよび審判方法など種目の特性を知ることができる。また、仲間と楽しみながらゲーム体験をし、生涯において健康的な生活を送るための健康づくりや生涯スポーツのきっかけとなる運動体験ができる。	バレーボールは集団スポーツであることから、集団的機能による共同性を養うことができる。また、本競技の本質的楽しさを知るために、個人到達目標として基本動作となるオーバーハンドパス・アンダーハンドパスおよびサーブ・レセプション（サーブレシーブ）・ディグ（スパイクレシーブ）・スパイクなどの個人技能の習得や他者を介してのボールコントロールを身につけることができる。
20GHSE0004	スポーツ実技（バドミントン）	全て	生涯スポーツとして、年齢男女問わず、レクリエーションにも競技的にも楽しむことのできるバドミントン。そのバドミントンの特性を、するスポーツ、観るスポーツ、支えるスポーツとして等、様々な角度から理解し、楽しさを多角的に学ぶことを目的とする。	バドミントンの基本的なストローク技術やシングルス・ダブルスのルールの理解、習得する。それらをベースとして試合を楽しみ、プレーすること、他者のプレーを観る・応援すること、試合運営を支えあうこと等から、多角的な楽しさ、バドミントンへの携わりを学ぶ。
20GHSE0005	スポーツ実技（ジャズダンス）	全て	ジャズダンスはポピュラー音楽の変遷と共にそのダンススタイルを変容してきた。本講義では、それらの中から代表的なスタイルおよび音楽の速度による踊り方の違い等を体験することにより、ジャズダンスが単に流行の音楽に合わせた一様式のダンスではないことを学習する。	この科目は、ジャズダンスの概論・実践の双方を学習した上で、セメスター修了時に衣装付でダンサー体験をすることにより、実際の現場（生涯学習・教育現場・舞台等）で生かせる実践力の習得を目標としている。
20GHSE0006	スポーツ実技（エアロビクス）	全て	音楽に合わせて、リズムカルに楽しく身体を動かし、健康・体力づくりができるのがエアロビックダンスである。本授業では、楽しくエアロビックダンスを行い、健康体力づくりに役立つ知識を学ぶことができる。そして、生涯に渡って楽しくフィットネスライフを継続できるようになる。	毎回の授業において、授業が終わっても、自宅や学校等で、いつでもどこでもできるトレーニングやストレッチを実践できるようになる。
20GHSE0007	スポーツ実技（スリムエアロ）	全て	健康・体力づくりを目的としたエアロビックダンスについて、その特徴や運動内容を理解し、正しい身体の使い方や振付を学ぶ。本授業では、体力向上、シェイプアップを中心に楽しくエアロビックダンスを行い、学生生活から生涯において運動がライフスタイルに根付くことを目指す。	エアロビックダンスの基本実技から様々なステップバリエーションを学習することで、音楽と一体感のある振付を楽しむことができ、エアロビックの技術向上を目標とする。
20GHSE0008	スポーツ実技（ダンスエアロ）	全て	健康・体力づくりを目的としたエアロビックダンスについて、その特徴や運動内容を理解し、正しい身体の使い方や振付を学ぶ。本授業では、様々なリズムの音楽を使ったダンス要素の動きを取り入れたエアロビックダンスを中心に学び、ダンス初心者でも取り組むことができる内容とする。学生生活から生涯において運動がライフスタイルに根付くことを目指す。	エアロビックダンスの動きに、ジャズダンスやヒップホップ、ラテン系を中心とした動きを取り入れた実技を行い、音楽と動きを楽しむことができ、技術向上を目標とする。
20GHSE0009	スポーツ実技（水泳）	全て	水泳の基本的技術と水泳に関する知識を理解し、自己の水泳能力を高める。この授業を通じて得られた水泳の知識・技能を生涯にわたる健康的なスポーツライフに活かせることが目的である。	正しい水泳の知識を獲得する。その知識をもとに正しい水泳の技能を身につける。リラックスして泳ぐことができる。到達目標は受講生それぞれによって異なるが、それを達成できるようにする。全体的な目標は、正しく美しい泳ぎを余裕を持って泳げるようになることである。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
20GHSE0010	スポーツ実技（軽スポーツ）	全て	トランポリン運動は、三次元スポーツ！ 空中で自分の体を動かし新たな身体能力を発見しよう。 個人スポーツなので各自のレベルに合わせて楽しく運動することができる。 また全身運動により美しいプロポーション作りに役立つ。 脳の活性化・持久力・瞬発力・バランス感覚を養うことができる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. バランス感覚を身につける。 コア・トレーニングができる（普段運動不足の学生） インナー・マッスルがさらに強化される（運動クラブの学生） 2. 脳の活性化・体力の向上を図る。 学業のプラスに繋がる（トランポリンを使用の動作全て） 3. 生涯スポーツとして役立つ。 一度身につけた感覚は忘れない為。 <p>※トランポリン運動は不安定な場所で行う為、頭と身体を一度に使う為、認知症の予防や障害者の回復運動にも利用できます。</p>
20GHSE0011	スポーツ実技（遊びと障害）	全て	障がいのある人（以下障がい者）がスポーツや遊びを楽しみ、身体を動かすことの大切さを考えていく。そのためにも誰もが取り組みやすい球技や水泳を取り上げ、その疑似体験を行うことによって、身体を動かすことの楽しさを感じることを目的とする。	障がいとは何か、また障がいのある人がスポーツや遊びを楽しむということはどのようなものなのか、実際に体験することにより「決して特別なことではない」ということを理解する。
20GHSE0012	スポーツ実技（ヨガ）	全て	近年、AI機能やスマートフォンの進化により、とても便利な社会である反面、運動不足や不規則なライフスタイルから心身の不調を起している人が増えている。運動が体、心、脳に良い効果があることは、多くの研究報告から明らかになっているが、その中でもヨガは、時代の流れと共に変遷され、医学や心理学、企業での人材育成や能力開発など、様々な分野に活かされている。そのヨガの知恵を現代社会に取り入れやすいかたちで、実技を中心に体験学習する。学生生活また卒業後も心身のバランスを保つセルフコンディションワークとして身につけることを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・15回の授業で、柔軟性、筋持久力、心肺機能など基礎体力が徐々に向上するが、実技体験から感じたこと、気づきを、まとめ発表する。 ・授業で学んだことを、自己のコンディションワークとして取り組みやすいようにまとめ実践する。 ・授業では、多種多様なヨガアプローチを体験する。そのことから色々な分野にヨガを活かすクリエイティブな案を発想をシェアリングする。
20GHSE0013	スポーツ実技（サッカー）	全て	サッカーのルールや特性を学び、個人技術を向上させチームスポーツとしてゲームを楽しめるようにする。	サッカーの競技特性を理解し、身体を動かす楽しみや充実感を味わいながらチームワークを養い、生涯にわたってスポーツを楽しむ能力と態度を養う。
20GHSE0014	スポーツ実技（ビーチバレー）	全て	ビーチコートにおいて「はだし」で球技スポーツを楽しむ。 バレーボールとビーチバレーの違いを知り、ビーチバレーを楽しむ。 またビーチバレーを通して自然環境と向き合う。	自然環境下でバレーボールを行い、砂、風に慣れること。ビーチバレーのルールで競技ができるようになること。
20GHSE0015	スポーツ実技（バンジージョーグ）	全て	医師であり運動科学者が発明したドイツ発の日本最新エクササイズです。様々な人々への体力づくりのために考案されました。このエクササイズを学ぶことで自身のより高い体力の向上をめざします。	現在、自分自身の持っているすべてのスキルとフィットネスレベルを向上し、日常生活あるいは運動を実施するうえで必要なバランス能力、反応能力更には体幹をも含めた筋力アップなど全身のコーディネーション能力を養うことを目標としています。
20GHSE0016	スポーツ実技（エアリアルワーク）	全て	昨今、AI機能の進化や医学の発展により、物質的に豊かな成熟社会ではあるが、その反面、多くの人が運動不足や不規則なライフスタイルから心身のアンバランス、不調を起している。こうした背景で、運動による効果は、肉体的な面は勿論のこと、メンタル、脳へも良い効果があることが、色々な研究団体から発表されている。エアリアルワークの体験学習を通じて、学生生活、そして卒業後も心身の健やかさを保つ方法として身につけることを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・体構造を踏まえ動作の理解について、実際に動作を発表する。 ・自分の身体についての気づきや意識を発表する。 ・シェアリングやドリルを通して、運動に対するポジティブな取り組みを発表する。 ・最終的に、自己のセルフコンディションワークとして役立てられるようなワークを発表する。
20GHSE0017	マッサージ実習	全て	自分自身の体にある関節や筋肉について理解し、マッサージによる健康維持、血行の改善の方法を理解する。たくさんの方が経験する肩こり、腰痛に対するマッサージの方法を理解する。 疲労回復、リラクゼーションを目的としたマッサージの技術を習得する。	体の部位や関節、筋肉について理解し、上肢・下肢・体幹に対するマッサージの方法を習得する。 肩こり、腰痛の原因を理解し対処方法、改善策、マッサージ方法について理解する。
20GHSE0018	からだ気づきと姿勢法	全て	ネヘミア・コーヘン氏によってカナダで開発された姿勢調整法であるミツヴァ・テクニクを中心に、その基本的概念と実践の方法を学ぶ。授業では基本エクササイズを体得すること、またその過程において自己のからだの在り方に目を向け、耳を傾けることで、からだへの気づきを促すことを目的とする。	学生が自分の習慣やからだの使い方の癖を見つめ直すことを通じて、からだへの気づきと姿勢調整の意味を理解する。各自ミツヴァ・エクササイズとその補助エクササイズを継続的にできるようにする。

短大・初年次ゼミ 学び発見ゼミ

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
20GJSM0001	映像コンテンツ制作	全て	文字・音声・画像・映像等のデジタルデータを使った成果物を作るのに必要な基礎的スキルを身につける。デジタルデータを扱う際に必要な基礎知識も習得する。	デジタルデータに関する基礎知識を習得し、それらを利用するのに必要なソフトウェアを使いこなすことができる。
20GJSM0002	子どもの本の世界を探る	全て	大学で学ぶのに最も大切なことは自分で課題を見つけて、自ら主体的に学び、探求をしていく学問への姿勢である。この科目では少人数による双方向の授業を通して、また他学科の学生との交流によって意見を交換しながら、大学で学ぶ意味を考え、いかに学ぶかを体得する。	レポートの書き方や児童文学に関する基礎知識を身につけ、広い視野で興味のある内容を研究し、大学生活において積極的に学問に挑戦する素地を得る。
20GJSM0003	聞く力と伝える力を考える	全て	大学で学ぶのに最も大切なことは自分で課題を見つけて、自ら主体的に学び、探求をしていく学問への姿勢である。少人数による双方向の授業を通して、他者と意見を相互に交えながら、大学で学ぶ意味を考える。そして、この科目では、様々な学科から集まった学生グループでコミュニケーションを重ねていき、いかに他者との信頼関係を築いていくかを実践的に学ぶ。	学生グループ活動による話し合いや意思疎通を通して、自分の思い・考えを効率的に伝え、相手を効果的に聴くスキルを成長させていく。また、レポートの書き方に関する基礎知識を身につけ、広い視野で興味のある内容を研究し、多くの授業で取り組まれているグループワーク・グループプロジェクトで主体的に取り組んでいける素地を得る。
20GJSM0004	こころの測り方	全て	目に見えない「こころ」をどのようにして「測る」のかを実践的に学ぶ。	1. こころの測り方（質問紙法）の基礎を理解し、説明できる。 2. 他者と協力しながら、データを収集・分析し、結果をまとめることができる。 3. ディスカッションやプレゼンテーションにおいて、自らの考えを論理的に説明できる。
20GJSM0005	リアリティの捉え方	全て	社会学の理論をふまえて、現実の社会で生じている出来事を分析し、説明することで、受講生が「なるほど」とか「そういうことか」といった納得を得ることができるようになり、社会のリアリティに迫り、社会についての理解を深める。	社会学についての基礎理論を方法論的個人主義と方法論的集合主義、さらにはシステム理論の観点から代表的な社会学者の研究を学び、現実の社会を分析するための認識の枠組みや方法論について理解する。
20GJSM0006	遊び心とコミュニケーション	全て	◎自由な遊び心を活かしながら、コミュニケーション能力を育み、リフレクション能力を養う。 ※リフレクション（省察）：自己の体験を振り返りながら、体験に基づいて学びを深めること。	①受講生同士の交流を深め、一方通行の講義とは異なる、共同的な学びの場を形成する。 ②自己理解、他者理解、自己表現、他者受容などに関わる、コミュニケーション能力を育む。 ③自己の体験を丁寧に振り返り、学びを深めることのできる、リフレクション能力を養う。
20GJSM0007	絵本をみる、よむ、創る、語る	全て	教育・保育に欠くことのできないメディアに絵本がある。日々教育現場で活用される絵本の特質について知るとともに、絵本のみかたやよみかた（語り方）といった基礎・基本から、つくりかたなどの実践的内容を体験することにより、絵本についての高度な知見を習得する。一方で、文学として絵本を〈よむ〉（みる）楽しみについても理解を深める。	(1) 絵本というメディアの基本的な特質や機能を理解している。 (2) 絵本のよみかたの実践について重要な点を理解している。 (3) 子どもにとっての絵本の意義を理解している。
20GJSM0008	マインドマップでプレゼンを学ぶ	全て	思考と学習に役立つツールであるマインドマップを学び、プレゼンテーション能力を高めることによって、主体的に学び関わる力を涵養する。	①マインドマップを思考と学習に活用できる。 ②効果的なプレゼンテーションを行える技術が身につく。 ③非言語的コミュニケーション技法を活用しながら話ができる。
20GJSM0009	モダンデザインの椅子	全て	現代の椅子のデザインは、20世紀中葉までにデザインされたものが基盤になっています。名作といわれる椅子のデザインの特徴と背景について理解を深めます。	実物に触れ、座ってみることで、本物を見極める力を身につけます。同時に、それがどのような考え方・時代背景の中でデザインされたのか、資料を収集し、読み解き、その結果をレポートにまとめ、プレゼンテーションし、議論する力を身につけます。
20GJSM0010	天然染料の科学	全て	天然染料を物質として科学的視点で捉えることを通じて、身の回りの天然物を科学的に考えることを学ぶ。また、染まる色の色彩を科学的に解析することで、色が数値で表されることを学ぶ。	1.天然物を科学的に考える能力を身につける。 2.天然物と合成物の科学的な違いを正しく理解する。 3.色彩を科学的に正しく理解する。
20GJSM0011	食べ物と栄養について学ぶ	全て	私たちが健康で過ごすには規則的な日常生活の中で、食品や栄養、消化吸収について正しい知識が必要である。この科目では、国民健康・栄養調査結果等からの問題点を考え、食品や栄養、消化吸収といった基礎知識を学ぶことで、今後の健康の維持・増進に役立てることを目的とする。	①日本国民の健康・栄養の状態が説明できる。 ②食品や栄養・消化吸収について正しい知識を身につける。 ③自分に合った食事計画が立案できる。 ④「食の安全」を理解し、安全で安心した食環境を理解する。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
20GJSM0012	身近な食べ物について学ぶ	全て	私たちが健康で過ごせるのは毎日規則正しく適切に食べているからである。普段何気なく口にしてしている食品について簡単な実験を行い、それらの食品の特質を知り食生活に役立てるようになることを目的とする。	①基本的食品の特質を物理的、化学的性質から説明できる。 ②実験を共同で行いチームワークに大切なコミュニケーション能力を身につける。 ③実験結果を適切にまとめ系統的に表現することができる。 ④実験結果を考察し食品の特質を演繹できる。
20GJSM0013	100年人生を考える	全て	この科目の目的は、老いに関する最新の知識と理解を深め、老いに関する自分なりの意見が述べられることである。	この科目の受講終了時には、 ①老いのイメージとその影響を述べることができる。 ②老いの身体的、心理的、社会的変化を説明できる。 ③発達・成長としての老いについて説明できる。 ④高齢になるまで経験するライフイベントについて考察できる。 ⑤自分の人生を高齢期まで描くことができる。
20GJSM0014	就活を楽しむ	全て	目的は、短期間のうちに就職活動に突入することになる短大生のために、入学直後からキャリア意識と就業意識を喚起し、社会人として働くことに前向きになり、ひいては就活に積極的に取り組む姿勢を育むことにある。 受講生が、辛い状況のなかでも前向きに就職活動に取り組むたくましいマインドを醸成すること。そのために受講生が失敗を恐れず、粘り強く何事にも挑戦する姿勢を涵養し、とくにマイナスと挫折と面倒に強くなること。また、そうした生き方の重要性に気づき、その実践を目指すことができるようになること。そのことによって、自ら考え行動する主体性と社会的関心を身につけ、学ぶ楽しさを感じ得る。併せて、「社会に貢献できる女性の育成」(武庫川学院教育目標)に資するために、社会人として仕事をする際に必要となる「高い知性・善美な情操・高雅な徳性」(武庫川学院立学の精神)の涵養を意識し、加えて「主体性・論理性・実行力」(武庫川女子大学教育推進宣言)を具えた「自立した学生」に成長することを目指す。	この授業の到達目標は、受講生が次に述べるような知識、スキル、マインドを獲得すること。 ①ネガティブな就活イメージの転換。 ②主体性の獲得(脱・指示待ち人間)。 ③思考力と発信力。 ④失敗を恐れぬ行動力と成長意欲。 ⑤前向きにたくましく就職活動を楽しむ心構え。 ⑥短大生であることを武器にするという自己肯定感。 ⑦自己理解(自己分析)の重要性の認識と実践。 ⑧企業研究、エントリーシート、面接等の就職活動の各ステップに関する知識と捉え方。 ⑨社会人基礎力を含む社会人として求められる仕事力への問題意識。 ⑩仕事力と武庫川学院の教育理念の理解。
20GJSM0015	面接で問われる「伝える力」	全て	就職試験で必ず行われるのが「面接」である。企業は必要とする人物であるかどうかを「面接」を通じて知ろうとする。多くの学生がこれまでに体験したことのない場面に遭遇する。「伝える力」を考えたことが少ないからだ。相手に通じさせるためには「具体性」という視点を持たなければならない。どうすれば具体的に語ることができるのか。そのためには、どのような学びが求められるのか。読売新聞大阪本社の編集局長、専務(人事担当)として1500人近い学生の最終面接を経験した担当者(河内)が、実際の面接スタイルで、学生たちとともに考えてみる。	「伝える力」とはなにか。徹底的な議論で、それぞれに「ふさわしい」素材を掴み、共有する。面接側の狙いはどこにあるのか。どう答えれば、対話が弾んでゆくのか。その基本を体感することで自信がつく。新聞を活用してたニュース感覚を学ぶことで「伝える力」のレベルアップができる。
20GJSM0016	人間の心理を考える	全て	多くの人が、他者の「心」を分かりたいと思った経験を持っている。しかし、私たちは自分の「心」でさえ分からない時が多々ある。本科目では、このような難しい「心」について、心理学ではどのようにして理解しようとしているのか実践的に学ぶことを目的としている。	①心理学のデータ収集方法を理解し、説明できる。 ②他者と協力しながら、データを集めることができる。 ③得られた結果について、文章や図表を用いて論理的に説明できる。 ④班でまとめた結果を、他者に分かりやすく伝えることができる。